

# 陸羽東線の利活用促進に関する 検討報告書

## (案)



令和 5 年 3 月

大 崎 市

## 目 次

はじめに	1
1 陸羽東線の概要	
(1) 陸羽東線の歴史	2
(2) 路線の概要	2
2 利活用報告書作成の背景	
(1) JR東日本による経営情報開示	3
(2) ローカル鉄道の在り方に関する提言	4
3 本市における陸羽東線の役割と路線を取り巻く環境の変化	
(1) 役割	6
(2) 環境の変化	6
(3) 利活用促進に向けた取組	6
4 陸羽東線の存続に向けた取組	
(1) 取組の位置づけ	8
(2) 取組目標	8
(3) 取組期間	8
(4) 取組項目	9
5 参考資料	
(1) 再構築検討会議名簿	21
(2) 陸羽東線の利活用促進に関する地域懇談会名簿	22
(3) 庁内関係課会議名簿	23
(4) 会議等の開催経過	24
(5) 市の取組や陸羽東線に関する新聞記事	27
(6) 各地域懇談会意見・提案一覧	28
(7) 高校生タウンミーティング参加者意見・提案一覧	42
(8) 市民提言一覧	43
(9) 市の取組（令和4年度、令和5年度）	50
(10) 地域の取組（令和4年度、令和5年度）	55
(11) 職員アンケート調査結果	56
(12) 公共交通通勤データに係る利用状況調査結果	70

## はじめに

本市の地域公共交通は、鉄道を基軸とし路線バスや地域内公共交通などによりネットワークを形成しております。中でも、鉄道に係る利用者の利便性向上や駅施設整備に関しては、県や沿線自治体等で構成する既存協議会等において利用者の声を取りまとめ、JR東日本に対する要望活動などを行ってまいりました。



今般、本市では、JR東日本の地方交通線の経営状況の公表を受け、開示対象となった陸羽東線の存続に向けた対策として、利活用促進に関する取組みを実践すべく、「再構築検討会議」を設置するとともに、沿線各地で地域懇談会を開催し、市民や関係機関の皆様と一緒に利活用促進策の具体的な協議と検討を進めてまいりました。さらに、研修会を通して、鉄道を活かしたまちづくりや利活用促進のためにどのような手法があるのかの調査・研究も重ねてまいりました。

利活用促進に当たっての議論では、地域住民の暮らしの足を守る「地域交通サービスの維持・提供」、鉄道を観光資源として活用した、まちの魅力向上と交流人口増につなげる「地域再生・活性化」の大きな社会的意義の実現が必要であるとの認識を得たところであります。

本報告書は、その方向性について、これまでの協議・検討を基に整理したものであります。今後も、地域に欠かせない陸羽東線を長きにわたり維持するため、市民と行政が一丸となり、JR東日本や国、県、関係機関との連携と協力のもとに取り組んでまいります。

結びに、再構築検討会議オブザーバー、各地域懇談会の皆様をはじめ、ご意見、ご提言をいただきました関係各位に心から感謝を申し上げます。

令和5年3月

大崎市長 伊藤 康志

## 1 陸羽東線の概要

### (1) 陸羽東線の歴史

1913年（大正2年），小牛田駅～岩出山駅間が陸羽線（りくうせん）として開業したのを皮切りに，1915年（大正4年）に鳴子駅（現・鳴子温泉駅）まで延伸。新庄側も新庄線（しんじょうせん）として新庄駅～羽前向町駅（現・最上駅）間が開業した。全線開通は1917年（大正6年）で，その際，陸羽線に新庄線を編入して陸羽東線と改称した。

愛称は，奥の細道湯けむりライン。令和5年は，小牛田駅～岩出山駅間の開業110周年の記念の年となる。



◀▲ 懐かしき「陸前古川駅」

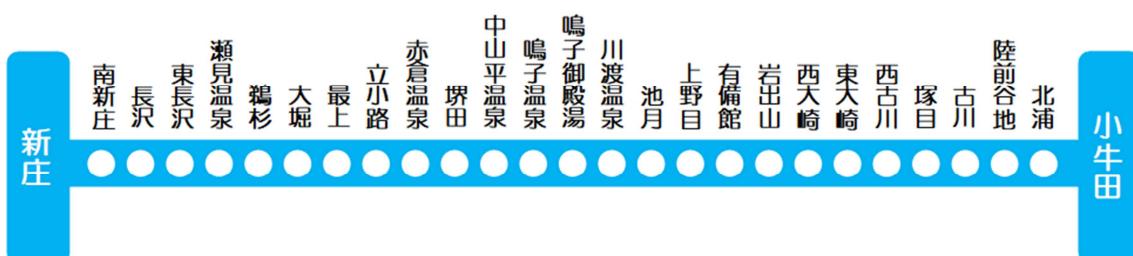
### (2) 路線の概要

・路線距離（営業キロ） 94.1km

小牛田～古川：9.4km 古川～鳴子温泉：35.5km 鳴子温泉～最上：20.7km

最上～新庄：28.5km

・駅数 27駅（うち大崎市13駅）



## 2 利活用報告書作成の背景

### (1) JR東日本による経営情報開示

令和4年7月28日、JR東日本の地方交通線の平均通過人員が、2019年度実績において1日当たり2,000人未満の線区を対象に経営情報が開示された(35路線、66区間)。

このうち、陸羽東線の「古川～鳴子温泉」、「鳴子温泉～最上」、「最上～新庄」の区間(線区)が、いわゆる赤字路線として公表された。

#### 【情報開示のポイント】

- ① 具体的な経営状況を地域の方々と共有し、現状を認識いただきたい。
- ② そのうえで、地域にとって最適な交通体系を建設的に議論させていただくための情報である。
- ③ 利用状況が最も大きなポイントと考えていて、採算性や収支を最も重視して路線の廃止を進めていくということではない。

#### 【本市における基本的な考え方】

- ① 本市独自に陸羽東線存続に向けて、府内のみならず市民や関係団体と共に、陸羽東線の厳しい現実を直視し、当該路線の維持・存続につながる利活用促進策を市民と共に検討・協議する。
- ② 沿線自治体として陸羽東線の存続に向けて何ができるのか。使いやすい路線として、観光やまちづくり等の視点も取り入れながら、懇談会参加者等から利活用促進に関するご意見をいただき、本市の考え方を令和4年度中に取りまとめる。

#### ◆陸羽東線の平均通過人員（単位：人/日）

JR東日本ウェブサイトより

	1987年 (S62)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)
全区間(小牛田～新庄)	2,411	906	850	629	660
小牛田～古川	8,926	3,885	3,714	2,818	3,075
古川～鳴子温泉	2,740	1,032	949	666	665
鳴子温泉～最上	456	85	79	41	44
最上～新庄	1,273	363	343	289	306

## (2) ローカル鉄道の在り方に関する提言

令和4年7月、国は「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」において、ローカル鉄道の在り方に関する提言をまとめた。

提言では、危機的状況のローカル鉄道の再構築に向けて、沿線自治体が中心となり、法定協議会等を設け、利用者や地域戦略の視点に立ち、将来に向けた地域モビリティの在り方について関係者と検討を進めていくことを基本原則に、国は協議会の円滑な立ち上げ及び進行に積極的に協力するとした。

更に、協議に基づき「鉄道を維持し徹底的な活用と競争力の回復を目指す線区」か「B R Tやバス等への転換により鉄道と同等以上の利便性の確保を目指す線区」かに応じた具体的方針を決定し、地域公共交通の再構築を実現することとしている。

### 【再構築のポイント】

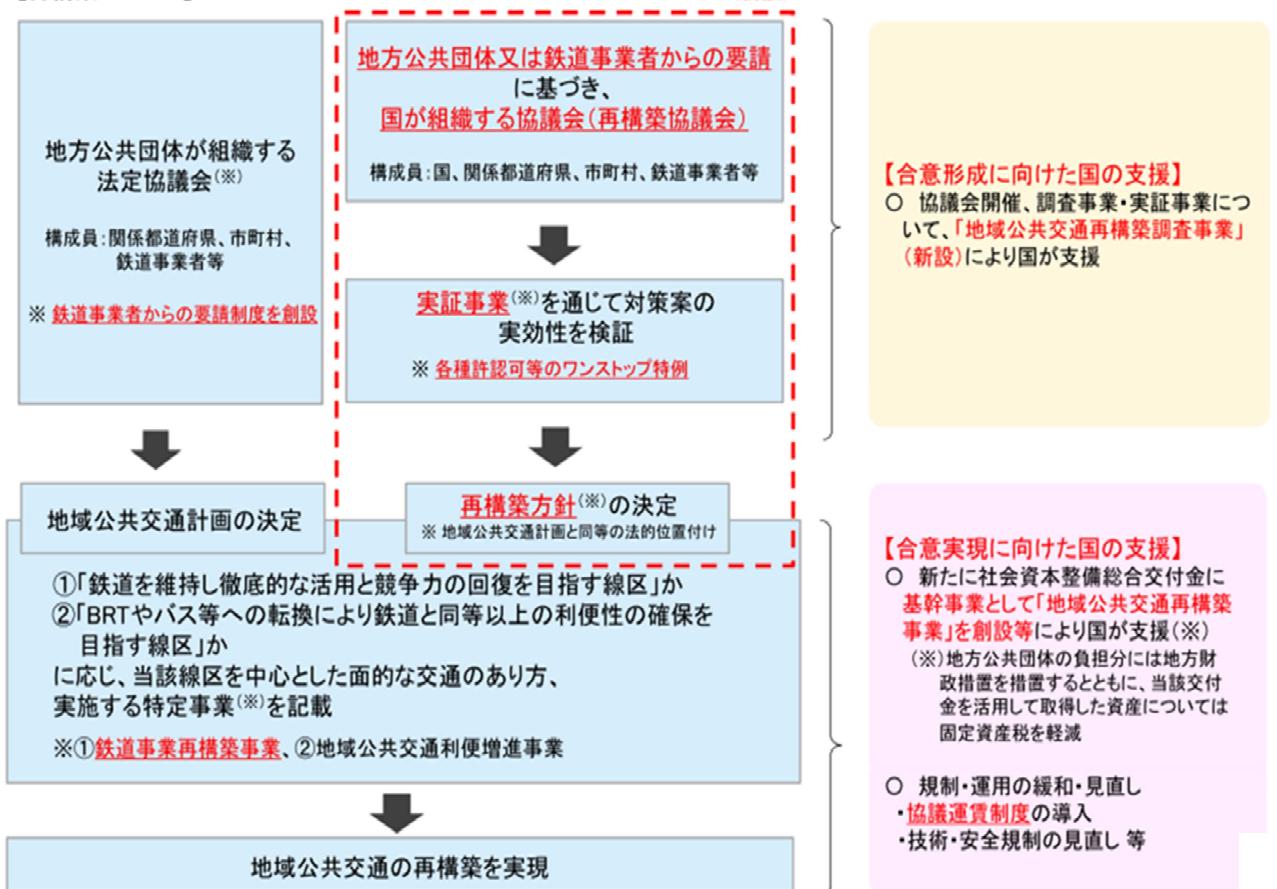
- ・国が関係自治体や鉄道事業者の意見を聞かずに、一方的に協議の場を立ち上げることはない。
- ・協議の場は「廃止ありき」、「存続ありき」という前提を置かず、利用者目線で協議。
- ・一定の輸送需要を下回っているという理由だけで鉄道の存廃を画一的に判断すべきではなく、地域ごとに丁寧に見ていく必要。
- ・「実証事業」の実施を通じて、対策の検証と関係者の合意形成を後押し。
- ・鉄道を維持する場合は、運賃・経費の適正化を行いつつ、必要な投資を行って鉄道の徹底的な活用と競争力の回復に努め、B R Tやバスへ転換する場合には、鉄道と同等又はそれ以上の利便性と持続可能性を確保。
- ・関係者間の合意に基づき、新たな輸送手段への転換を含め、J R各社はその実現に最大限協力。自治体も必要な関与を強め、国も頑張る地域を支援。

※地域モビリティ：人々の自由な移動と、それを支える多様な移動の仕組み。

※B R T：専用走行空間の確保を基本とした、速達性、定時性、輸送能力に優れた、バス車両をベースとした高速運行の公共交通システム。

## ローカル鉄道の再構築に関する仕組みの創設【地域公共交通活性化再生法等の改正】 国土交通省

### 【再構築のフロー】



### **3 本市における陸羽東線の役割と路線を取り巻く環境の変化**

#### **(1) 役割**

広い市域を有する本市において、陸羽東線は、主に通学、通勤、通院等の利用者に欠かせない公共交通機関となっている。鉄道の特性は、定時制の確保、大量輸送にあり、日本有数の泉質を誇る鳴子温泉郷を有する本市において、観光振興など鉄道輸送が存在することには、大きな社会的価値がある。

また、県境を越え山形県と東西を結ぶ軸となり、観光周遊はもちろんのこと、交流人口の拡大などに寄与し、更には駅を拠点とした地域の活性化、いつでも鉄道を利用できるという安心感や、交通渋滞の緩和、自動車交通からの転換によるCO<sub>2</sub>排出量の削減効果などに期待が寄せられる。

このように、陸羽東線は、通学・通勤等の重要な足として沿線地域の人々の暮らしを支えるとともに、観光面においても地域と関係団体、JR東日本との連携によって地域活性化に重要な役割を果たすことが期待される。

陸羽東線を維持、確保していくためには、一人ひとりが危機的状況を認識し、利活用促進策に取り組み、再構築を図っていくことが必要である。

#### **(2) 環境の変化**

陸羽東線の利用者は、主に通学、通勤利用者であるが、モータリゼーションや少子化の進展などの影響により、利用者は年々減少しており、コロナ禍以降は更に顕著となっている。

また、観光面においても、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出抑制により利用者が減少している。

ローカル鉄道を取り巻く経営環境は、一層厳しい状況になっている。

#### **(3) 利活用促進に向けた取組**

JR東日本による利用者の少ない赤字路線の公表を受けて、本市は「再構築検討会議」を設置し、地域懇談会を開催するなど利活用促進策を検討するとともに、市広報やウェブサイトにおいて市民提言の募集を行った。

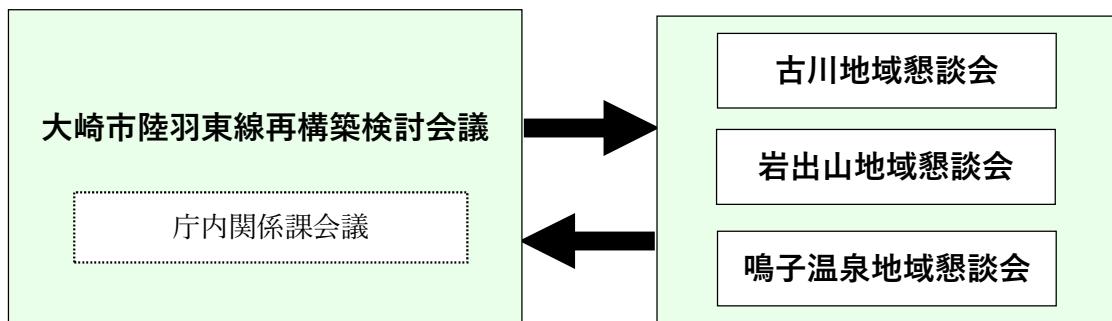
地域懇談会や市民提言等で集約した利活用促進に関する意見・提案は、今後取り組むべき項目として、時間軸、取組主体、取組内容ごとに分類を行い、検討項目を具体化したうえで、関係機関と連携しながら実施につなげることとする。

市では、「市職員による陸羽東線の利活用促進にかかるアンケート調査」や「公共交通通勤デーの実施」、「公共施設への陸羽東線の利活用促進に関する横断幕の設置」、「大崎市図書館でのローカル線の特別展示」のほか、「市の関係機関約100団体に対する利活用促進の働きかけ」を行うなど、具体的な取組を進めていると

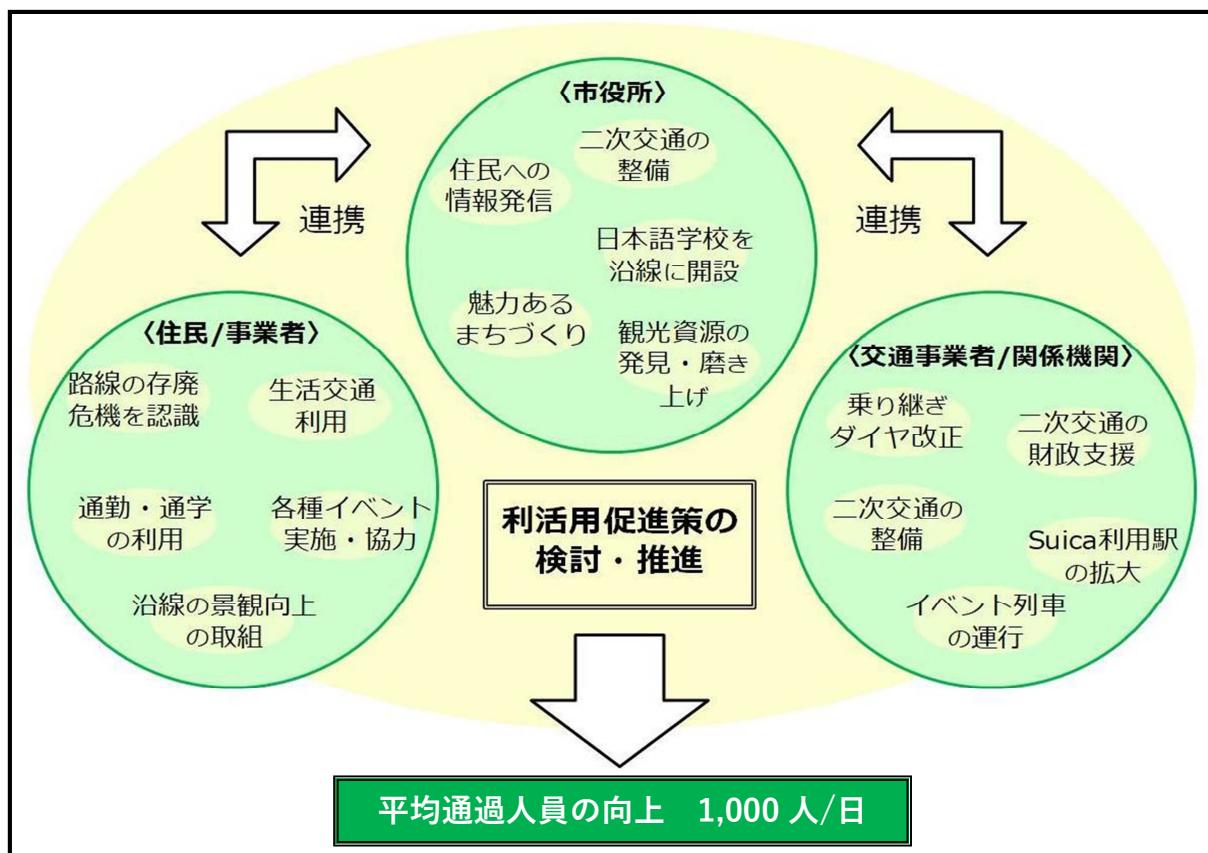
ころである。引き続き、市職員が率先して利活用促進に取り組む姿勢を示しながら、「市民生活路線」、「観光路線」、「寄り添い路線」の3つの視点の下、より多くの住民や企業、団体等を巻き込んだ利活用促進策を展開していくこととする。

### 陸羽東線再構築に向けた検討組織

路線の存続に向けて、部長級職員で構成する検討会議と住民等で組織する3つの地域懇談会で、利活用促進策の検討・協議



### 利活用促進策の取組イメージ



※取組主体及び連携機関については、9ページ以降の重点的な取組項目において示す。

## 4 陸羽東線の存続に向けた取組

### (1) 取組の位置づけ

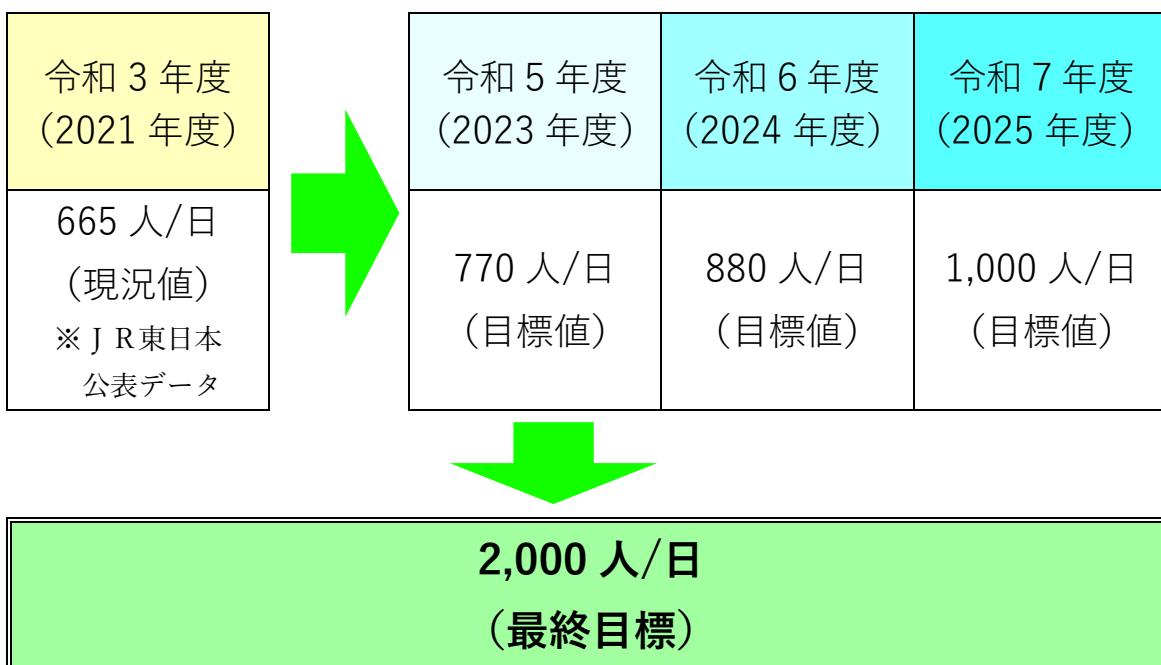
本取組は、市、地域住民、事業者、関係機関の連携と協働の下、陸羽東線の利用者増加に向けた利活用促進策を検討・推進するものである。

### (2) 取組目標

利活用促進に向けた各取組により、古川～鳴子温泉駅間の平均通過人員を令和7年度に「1,000人」とすることを目標とする。

また、令和7年度の目標値達成後には、1,500人、2,000人とさらなるステップアップを目指し、継続した取組を推進する。

#### 【古川～鳴子温泉駅間の平均通過人員】



### (3) 取組期間

まずは令和5年度から令和7年度までの3年間で、目標値達成に向けた取組を行う。取組に当たっては、毎年度取組の実施状況と結果を検証し、地域住民、関係団体等と実施状況等の共有を図りながら、PDCAサイクルに基づいた市民協働による取組の素地を構築する。

更に、令和8年度以降もこれまでの取組を踏まえ、適宜、項目の見直しや追加を行うなど、最終目標に向かって継続した取組を進める。

なお、大崎市地域公共交通計画や市の関係する各種計画との整合を図りながら、目標の達成に向けて取り組むこととする。

#### (4) 取組項目

以下の11項目について、次の3つの視点で取り組むものとする。併せて、市、住民、事業者、関係機関との協働のもとに、各取組を着実に推進することでSDGsの達成に貢献していく。

- ① 公共交通の基軸となる市民生活路線
- ② 自然、景観等の観光資源豊富な観光路線
- ③ 大崎を想う多くの人たちが寄り添う路線

No.	取組項目	分類※
1	エコ通勤優良事業所認証制度の普及	日常
2	二次交通の整備（利便性の向上）	日常
3	「みんな」のマイレール意識向上	その他
4	駅のバリアフリー化、スマート化、周辺の環境整備	その他
5	世界農業遺産「大崎耕土」の連携による観光の推進	非日常
6	観光地の活性化・まちの魅力向上	非日常
7	市の観光振興に向けた戦略の展開	非日常
8	利用促進イベントの開催、地域イベントとのコラボレーション	非日常
9	企画列車の定期運行	非日常
10	列車の付加価値向上	その他
11	地域を担う若者提案の実現	その他

※【通学・通勤利用等=日常】【観光利用・イベント参加等=非日常】【その他】

No.1	<b>エコ通勤優良事業所認証制度の普及</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 日常 <input type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	モータリゼーションの進展による地球環境への影響。			
方向性	公共交通を利用する通勤者が増え、環境負荷が軽減される。			
具体的な取組内容				
①職員による通勤利用 ②事業所等への利用の働きかけ ③広報紙、ウェブサイトを活用したPR ④市独自の優遇制度の検討・実施	 <p>※エコ通勤優良事業所認証ロゴマーク（自治体向けエコ通勤啓発リーフレットより引用）</p>			
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> ・ <input type="button" value="市民"/> ・ <input type="button" value="交通事業者"/> ・ <input type="button" value="事業者"/> ・ <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①職員による通勤利用 ・通勤デーの実施（実証） ・検証、定期利用検討・実施				
②事業所等への利用の働きかけ				
③広報紙、ウェブサイトを活用したPR				
④市独自の優遇制度の検討・実施				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線を利用している会社員への減税もしくは定期券割引率を増やす。</li> <li>・市職員の通勤手段として、鉄道の積極的利用を推進すること。</li> <li>・沿線の企業に向け、社員の電車通勤を促す優遇策などを検討する。</li> </ul>				

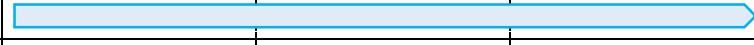
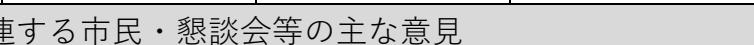
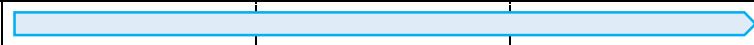
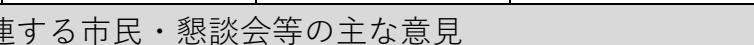
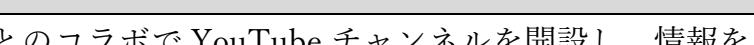
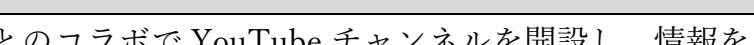
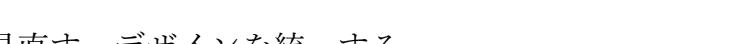
No.2	二次交通の整備（利便性の向上）	<input checked="" type="checkbox"/> 日 常 <input type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	駅からの二次交通が無い、又はバス等の本数が少ない。			
方向性	駅を拠点とした二次交通が整備され、目的地までスムーズに移動することができる。			
具体的な取組内容				
①JRダイヤとの調整 ②バス、タクシーの循環・シャトル運行の検討・実施 ③駅周辺の駐車場整備の検討・実施 ④スクールバス活用の検討・実施				
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> ・ <input type="button" value="市民"/> ・ <input type="button" value="交通事業者"/> ・ <input type="button" value="事業者"/> ・ <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①JRダイヤとの調整 ・ゲーゲル乗換案内の活用				
②バス、タクシーの循環・シャトル運行の検討・実施				
③駅周辺の駐車場整備の検討・実施				
④スクールバス活用の検討・実施				
取組に関する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で運行しているバスで、列車利用できる途中駅まで送迎する。</li> <li>・レンタサイクルや循環バス等の増強など、観光客のために二次交通を整備する。</li> <li>・自転車を持ち込みできるサイクルトレインを運行する。</li> <li>・デマンドタクシーと陸羽東線を利用した際に、何かしらの補助をする。</li> <li>・小中学校のスクールバス路線の起点を地域内の駅とする。</li> </ul>				

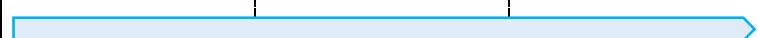
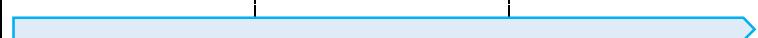
No.3	「みんな」のマイレール意識向上	<input type="checkbox"/> 日常 <input type="checkbox"/> 非日常 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	鉄道の存廃に対する意識が希薄化している。			
方向性	みんなが陸羽東線の存在意義を「自分事」として捉え、利用者が増えて地域に活力があふれている。			
具体的な取組内容				
①ロゴマークの作成・啓発 ②事業所等への働きかけ ③情報発信 ④ファンクラブの設置・運営 ⑤陸羽東線(小牛田駅～岩出山駅間)開業110周年冠事業の実施				
取組主体及び連携機関				
大崎市・市民・交通事業者・事業者・その他関係機関				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①ロゴマークの作成・啓發 ・市の発送文書等へ掲載				
②事業所等への働きかけ				
③情報発信 ・広報紙、ウェブサイトを活用し、取組状況などを随時発信				
④ファンクラブの設置・運営	設置	運営		
⑤陸羽東線(小牛田駅～岩出山駅間) 開業110周年冠事業の実施				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園や保育園、小中学校の行事や授業に電車の乗車体験を入れてもらう。</li> <li>写真コンテストや絵画コンクール、電車内でのワークショップや芸術活動との共催事業を実施する。</li> <li>市内や山形県側の小学生の交流授業、学校間交流。違う土地の文化や歴史を学ぶ。</li> <li>陸羽東線利活用アイデアコンテストを開催する。</li> </ul>				

No.4	駅のバリアフリー化, スマート化, 周辺の環境整備	<input type="checkbox"/> 日 常 <input type="checkbox"/> 非日常 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	高齢者などが利用しにくい駅構造となっている。また、交通系 IC カードが利用できない。防犯灯が少なく夜間の利用に不安がある。			
方向性	駅施設及び周辺の利用環境が快適になっている。			
具体的な取組内容				
①市, JRとの連携, 協議 ②環境整備に向けた国の支援制度の活用 ③防犯灯, 防犯カメラ, 周辺道路の整備 ④駅舎等の環境美化活動 ※主に跨線橋のある鳴子温泉, 岩出山, 西古川駅のバリアフリー化について検討・協議を推進する。				
取組主体及び連携機関				
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大崎市</span> · <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市民</span> · <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交通事業者</span> · <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業者</span> · <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他関係機関</span>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①市, JRとの連携, 協議				
②環境整備に向けた国の支援制度の活用				
③防犯灯, 防犯カメラ, 周辺道路の整備				
④駅舎等の環境美化活動				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が利用しやすい駅舎に向けて、駅構内跨線橋を改善する。</li> <li>・パークアンドライドを推進する。</li> <li>・塚目～中山平温泉間に「Suica」の読み取り端末機械を設置する。</li> <li>・岩出山駅に折り返し用出発信号機を新設し、古川～岩出山間の増発による利便性向上を図る。</li> </ul>				

No. 5	世界農業遺産「大崎耕土」の連携による観光の推進	<input type="checkbox"/> 日 常 <input checked="" type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	人口減少や高齢化、後継者不足により、食文化の風化、自然環境などの保全機能が低下している。			
方向性	都市農村交流により、共に支え合う人のつながりが拡充し、持続可能な地域が形成されている。			
具体的な取組内容				
①大崎耕土ウォーキングイベントの実施 ②大崎耕土を巡るツアープログラムの実施・環境整備 ③地元食材・食文化、地域資源の継承事業				
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> · <input type="button" value="市民"/> · <input type="button" value="交通事業者"/> · <input type="button" value="事業者"/> · <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①大崎耕土ウォーキングイベントの実施				
②大崎耕土を巡るツアープログラムの実施・環境整備				
③地元食材・食文化、地域資源の継承事業				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンツーリズムに鉄道を取り入れた企画を提案する（車窓から居久根を眺めるツアーなど）。</li> <li>・陸羽東線の駅を拠点としたツーリズム（①世界農業遺産「大崎耕土」を訪れるウォーキングイベントの定期開催 ②鉄道から見た世界農業遺産居久根景観体験ツアーの企画 ③新幹線古川駅からのツアーコンダクター同乗の企画）を促進する。</li> <li>・「居久根」のある家を宿泊施設（民泊）として、親戚の家に来たような田舎体験、大崎耕土を体験できる滞在プランを用意する。</li> </ul>				

No. 6	観光地の活性化・まちの魅力向上	<input type="checkbox"/> 日 常 <input checked="" type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課 題	観光客が減少し、観光地やまちが衰退している。			
方向性	訪れる人が楽しめる、また来たくなるような観光地・まちの魅力が向上している。			
具体的な取組内容				
①市内の観光資源を学ぶ機会の提供 ②地場産品を使ったメニュー（駅弁等企画商品）、土産開発 ③オンライン予約、キャッシュレス決済等の導入推進				
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> · <input type="button" value="市民"/> · <input type="button" value="交通事業者"/> · <input type="button" value="事業者"/> · <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①市内の観光資源を学ぶ機会の提供				
②地場産品を使ったメニュー（駅弁等企画商品）、土産開発				
③オンライン予約、キャッシュレス決済等の導入推進				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線と特産品をコラボレーションするなど、お土産を工夫する。</li> <li>・PR動画を作成して、配信する。</li> <li>・JRの「駅長オススメの小さな旅」に沿線各地域がJRに協力し企画する。</li> <li>・「奥の細道湯けむり手形」を発行する。支援制度を受けられる旅館は利用者による投票制にし、地域活性化に必要な「宿の競争化によるクオリティの向上」を、利用者には「応援する機会」を創出する。</li> </ul>				

No. 7	<b>市の観光振興に向けた戦略の展開</b>	<input type="checkbox"/> 日常 <input checked="" type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他	
<b>課題と目指す方向性</b>			
課題	観光を軸とした、地域の農・商・工、宿泊、飲食業など地域経済が低迷している。		
方向性	産業連携が促進され、新たな産業創出や雇用創出につながり地域が活性化している。		
<b>具体的な取組内容</b>			
①SNS 等を通じた市の魅力発信 ②ワーケーションなどの導入推進 ③きれいな観光地としてのイメージアップ ④観光ガイドの活動支援 ⑤企画旅行の創出 ⑥教育旅行の誘致			
<b>取組主体及び連携機関</b>			
大崎市・市民・交通事業者・事業者・その他関係機関			
<b>取組スケジュール</b>			
取組内容	R5	R6	R7
①SNS 等を通じた市の魅力発信			
②ワーケーションなどの導入推進			
③きれいな観光地としてのイメージアップ			
④観光ガイドの活動支援			
⑤企画旅行の創出			
⑥教育旅行の誘致			
<b>取組に関連する市民・懇談会等の主な意見</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンサーライブや有名人とのコラボで YouTube チャンネルを開設し、情報を発信する。</li> <li>・各温泉地のパンフレットを見直す。デザインを統一する。</li> <li>・鳴子温泉郷を大崎市のベッドタウン化する構想を立ち上げ、温泉に入って生活(居住)し鉄道の安定した高速性を活かして通勤。連動して駅からの二次交通網の整備が進み、駅周辺は生活者のための飲食店や商店ができる。</li> </ul>			

No.8	<b>利用促進イベントの開催、地域イベントとのコラボレーション</b>	<input type="checkbox"/> 日常 <input checked="" type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他		
<b>課題と目指す方向性</b>				
課題	定期利用を含め観光利用、おでかけ利用が減少している。			
方向性	鉄道利用者が増え、駅を拠点としたまちが形成されている。			
<b>具体的な取組内容</b>				
①列車の乗り方教室の開催 ②政宗公まつり、こけし祭りなど各地域イベントと陸羽東線のコラボレーション商品企画 ③地域をデザインするワークショップの開催 ④駅舎等でのイベント実施				
<b>取組主体及び連携機関</b>				
<input type="button" value="大崎市"/> ・ <input type="button" value="市民"/> ・ <input type="button" value="交通事業者"/> ・ <input type="button" value="事業者"/> ・ <input type="button" value="その他関係機関"/>				
<b>取組スケジュール</b>				
取組内容	R5	R6	R7	
①列車の乗り方教室の開催				
②政宗公まつり、こけし祭りなど各地域イベントと陸羽東線のコラボレーション商品企画				
③地域をデザインするワークショップの開催				
④駅舎等でのイベント実施				
<b>取組に関連する市民・懇談会等の主な意見</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特典がついてお得な切符（例：日帰りパック（入浴・食事付））を販売したり、小中学生の校外学習列車、高校生職業体験列車などを運行する。</li> <li>・子ども向けのイベントを開催する（①「ポケモンGO」とコラボレーションする。 ②陸羽東線の「トミカ」を作る）。</li> <li>・陸羽東線に関連した写真コンテストや観光地でゆかたコンテストを開催する。</li> <li>・駅のイメージを良くする（①イルミネーションで無人駅を装飾して明るく照らす。 ②駅に音楽をかける。③列車が到着する前に音楽をかける）。</li> </ul>				

No. 9	企画列車の定期運行	<input type="checkbox"/> 日 常 <input checked="" type="checkbox"/> 非日常 <input type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課 題	S L やイベント列車などの運行が少なく、ローカル線の馴染みが薄い。			
方向性	市内外から鉄道愛好者が訪れ、地域がにぎわっている。			
具体的な取組内容				
<p>①市、JRとの連携、協議</p> <p>②小中学校での教育体験</p> <p>※「びゅうコースター風っこ（JR東日本のトロッコ臨時列車）」を活用した体験学習など。</p>	 <p>※「SATONO(さとの)」。画像はイメージです。 ※提供：JR東日本東北本部</p>			
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> ・ <input type="button" value="市民"/> ・ <input type="button" value="交通事業者"/> ・ <input type="button" value="事業者"/> ・ <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①市、JRとの連携、協議				
②小中学校での教育体験				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴子の撮り鉄が撮影しやすい場所で、有料の写真撮影会を実施する（写真撮影会と陸羽東線の利用をセットで行う）。</li> <li>・四季ごとの列車や、鳴子温泉巡り旅列車、有備館・伊達政宗歴史めぐりの旅列車、スキー列車、芋煮列車などを運行する。</li> <li>・「SATONO」を使用したツアー列車を運行する。</li> </ul> <p>※SATONOとは、JR東日本が2024年春頃に運行を開始する観光列車のこと。</p> <p>各地のイベントや季節の移り変わりに合わせ、宮城・福島・山形の3県を中心に運行される。</p>				

No.10	列車の付加価値向上	<input type="checkbox"/> 日 常 <input type="checkbox"/> 非日常 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	分かりやすさ、使いやすさなどサービス向上のニーズが高まっている。			
方向性	鉄道の価値が更に向上し、利便性が向上している。			
具体的な取組内容				
①支払い・予約の利便性向上 ②貨客混載の調査・研究 ③陸羽東線ガチャの販売				
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> ・ <input type="button" value="市民"/> ・ <input type="button" value="交通事業者"/> ・ <input type="button" value="事業者"/> ・ <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①支払い・予約の利便性向上 ・スマート化に向けた協議 ・MaaS*の調査・研究				
②貨客混載の調査・研究				
③陸羽東線ガチャの販売				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線のマスコットキャラクターを公募で作成し、そのキャラクターのイベントを開催してPRしたり、グッズを販売したりする。</li> <li>・駅にアニメキャラクターの等身大掲示物を置いたり、アニメのスタンプを作ってスタンプラリーを実施し、全部集めたらコラボグッズをプレゼント。</li> <li>・BDF（バイオディーゼル燃料）化の研究をする。</li> <li>・貨物輸送に活用し、太平洋側と日本海側を結ぶ貨物列車を走らせる。また、旅客車両にも生鮮食品用の小型コンテナを入れて輸送を使う。</li> </ul>				

\*MaaS（マース）とは、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスのこと。

No.11	<b>地域を担う若者提案の実現</b>	<input type="checkbox"/> 日常 <input type="checkbox"/> 非日常 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
課題と目指す方向性				
課題	中高生など、若者の陸羽東線利用が限定的で関心が薄い。			
方向性	提案内容の積極的な採用により、若者の愛着心が芽生え、育まれる。			
具体的な取組内容				
①高校生タウンミーティングなどの定期開催 ②通学利用におけるダイヤ改正の提案 ③大崎耕土横断マラソン				
取組主体及び連携機関				
<input type="button" value="大崎市"/> ・ <input type="button" value="市民"/> ・ <input type="button" value="交通事業者"/> ・ <input type="button" value="事業者"/> ・ <input type="button" value="その他関係機関"/>				
取組スケジュール				
取組内容	R5	R6	R7	
①高校生タウンミーティングなどの定期開催				
②通学利用におけるダイヤ改正の提案				
③大崎耕土横断マラソン				
取組に関連する市民・懇談会等の主な意見				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅の近くに若者が多く利用する施設を造る。例えば、大型のアウトレットモール、ボルバーカー等を招致する。</li> <li>・道の駅やキャンプ場かバーベキューの施設を造る。その場所は手ぶらで来られるようにして、学生も利用しやすくする。</li> <li>・陸羽東線のSNSを始める。観光地の写真を投稿する。若者にSNSで景色などの投稿をしてもらい、注目を集める。</li> </ul>				

# 5 參考資料

## (1) 再構築検討会議名簿

### ① 検討会議

No.	役 職	氏 名	備 考
1	副市長	吉田祐幸	会長
2	副市長	尾松智	副会長
3	市民協働推進部長	伊藤文子	幹事長
4	総務部長	赤間幸人	幹事
5	民生部長	渋谷勝	幹事
6	産業経済部長	寺田洋一	幹事
7	建設部長	茂泉善明	幹事
8	教育部長	宮川亨	幹事
9	病院経営管理部長	中田健一	幹事
10	岩出山総合支所長	安藤豊	幹事
11	鳴子総合支所長	伊藤正幸	幹事

### ② オブザーバー

No.	役 職	氏 名	備 考
1	東北運輸局鉄道部計画課長	岩淵正宏	
2	東北運輸局観光部観光企画課長	長内誠	
3	東北運輸局交通政策部交通企画課長	小林拓也	
4	宮城県経済商工観光部参事兼観光政策課長	柳澤宏	
5	宮城県企画部地域交通政策課長	大石雅邦	
6	東日本旅客鉄道株式会社東北本部総務部企画室企画課長	箸方稔	
7	一般社団法人みやぎ大崎観光公社常務理事兼事務局長	星義一	
8	鳴子温泉郷観光協会事務局長	菊地英文	

## (2) 陸羽東線の利活用促進に関する地域懇談会名簿

### ① 古川地域懇談会

No.	役 職	氏 名	備 考
1	古川まちづくり協議会 会長	高 橋 利 昭	
2	志田東部地区振興協議会 会長	大 場 勝 好	
3	志田中部地区振興協議会 副会長	児 玉 正四郎	
4	西古川地区振興協議会 コミュニティビジネス部長	鬼 沢 和 雄	
5	東大崎地区振興協議会 幹事	高 橋 憲 夫	
6	高倉地区振興協議会 高倉地区公民館長	佐々木 強 悅	
7	古川商工会議所 副会頭	菊 地 大 樹	
8	おおさき青年会議所 専務理事	鹿 郷 敦 史	
9	みやぎ大崎観光公社 常務理事兼事務局長	星 義 一	
10	大崎市工業会 副会長	佐 藤 拓 郎	
11	古川高等学校 PTA 会長	小 嶋 昌 信	
12	古川黎明高等学校 PTA 会長	千 葉 剛	
13	古川学園高等学校 PTA 教頭	佐 藤 和 博	
14	大崎中央高等学校 PTA 副会長	笠 原 亨	

### ② 岩出山地域懇談会

No.	役 職	氏 名	備 考
1	岩出山まちづくり協議会 会長	松 浦 修 一	
2	まやま自治会 会長	高 橋 雅 博	
3	池月地域づくり委員会 会長	山 口 忠 一	
4	上野目自治協議会 会長	佐々木 一 志	
5	西大崎地域自治協議会 事務局長	高 橋 久 則	
6	岩出山地域づくり委員会 事務局長	渋 谷 大 輔	
7	玉造商工会 副会長	大 泉 純 一	
8	岩出山観光協会 理事	小野松 佳 孝	
9	岩出山高等学校 PTA 会長	森 政 徳	
10	岩出山中学校 PTA 会長	佐々木 奈緒子	
11	岩出山地域内公共交通運営委員会 会長	高 橋 芳 一	

**(3) 鳴子温泉地域懇談会**

No.	役 職	氏 名	備 考
1	鳴子まちづくり協議会 会長	高 橋 鉄 夫	
2	鬼首地域づくり委員会 副委員長	大 沼 幸 男	
3	中山地区コミュニティ連絡協議会 会長	上 野 孝 作	
4	鳴子地域づくり委員会 副委員長	高 橋 良 一	
5	東鳴子地域づくり委員会 副委員長	阿 部 常 義	
6	川渡地域づくり委員会 理事	板 垣 幸 寿	
7	鳴子巡回地域づくりネットワーク 理事	大 江 征 一	
8	鳴子温泉郷観光協会 事務局長	菊 地 英 文	
9	玉造商工会 副会長	宮 本 武	
10	鳴子中学校 PTA 会長	高 橋 慶 行	
11	鳴子小学校 PTA 会長	鈴 木 頤	
12	鳴子御殿湯駅乗車券類発売管理組合 庶務担当	高 橋 聖 也	

**(3) 庁内関係課会議名簿**

No.	役 職	氏 名	備 考
1	総務部人財育成課課長補佐	高 橋 茂 樹	
2	市民協働推進部政策課主幹兼係長	古 内 昭 宏	
3	民生部社会福祉課主幹兼係長	酒 井 英 範	
4	産業経済部産業商工課課長補佐	芦 部 仁 英	
5	産業経済部観光交流課課長補佐	松 岡 治	
6	建設部都市計画課課長補佐	和 泉 紀 宏	
7	教育部学校教育課課長補佐	後 藤 英 樹	
8	岩出山総合支所地域振興課主幹兼係長	菊 地 宏 美	
9	鳴子総合支所地域振興課主幹兼係長	高 橋 貴 紀	

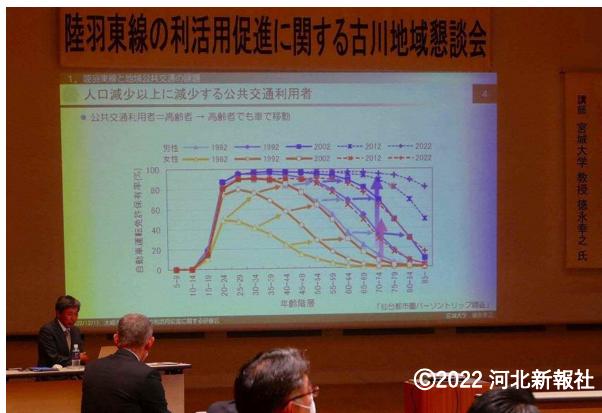
## (4) 会議等の開催経過

### ① 再構築検討会議

年月日	会議等の内容
令和4年10月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎市陸羽東線再構築検討会議について</li> <li>・アンケート調査結果について</li> <li>・地方鉄道をめぐる動向について</li> <li>・意見交換</li> </ul> 
令和4年12月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域懇談会の進捗と今後のスケジュール等について</li> <li>・意見交換</li> </ul> 
令和5年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利活用促進に関する検討報告書（案）について</li> </ul> 

## ② 各地域懇談会

年月日	会議等の内容
令和4年11月14日	<p>&lt;古川地域懇談会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線の利活用促進に向けた検討について</li> <li>・地方鉄道の現状について</li> <li>・今後の進め方について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
令和4年11月16日	<p>&lt;鳴子温泉地域懇談会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線の利活用促進に向けた検討について</li> <li>・地方鉄道の現状について</li> <li>・今後の進め方について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
令和4年11月17日	<p>&lt;岩出山地域懇談会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線の利活用促進に向けた検討について</li> <li>・地方鉄道の現状について</li> <li>・今後の進め方について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
令和4年12月11日	<p>&lt;三地域が同日にそれぞれの地域で懇談会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大崎市地域公共交通活性化協議会の徳永会長から「陸羽東線の歴史と未来」と題しオンライン研修会を開催</li> <li>・研修会終了後、1回目の会議の振り返りと利活用促進に関する意見交換を実施</li> </ul>
令和5年1月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線の利活用促進に関する研修会を開催</li> <li>・日本鉄道保存協会事務局長の米山淳一氏から「鉄道を活かしたまちづくり」と題し研修会を開催 73名参加（一般聴講者含む）</li> </ul>
令和5年2月26日	<p>&lt;三地域合同の地域懇談会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同日は、前段で大崎市内の高校9校の生徒による「おおさき高校生タウンミーティング」として、陸羽東線の利活用促進をテーマにワークショップを開催</li> <li>・地域懇談会では、陸羽東線の「利活用促進に関する検討報告書（素案）」について</li> <li>・各団体における利活用促進に関する取り組み状況について意見交換を実施</li> </ul>



▲ 陸羽東線の利活用促進に関する研修会及び懇談会（令和4年12月11日）



▲ 陸羽東線の利活用促進に関する研修会（令和5年1月17日）



▲ 「おおさき高校生タウンミーティング」×「宝さがし未来トーク」（令和5年2月26日）



▲ 第3回陸羽東線の利活用促進に関する地域懇談会（令和5年2月26日）

### ③ 庁内検討会議

年月日	会議等の内容
令和4年8月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方鉄道をめぐる動向について</li> <li>・本市における今後の対応について</li> <li>・意見交換</li> </ul>
令和4年11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査結果について</li> <li>・今後の取り組みについて</li> <li>・意見交換</li> </ul>
令和5年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸羽東線再構築検討会議および各地域懇談会の進捗状況について</li> <li>・利活用促進に関する取り組みについて</li> <li>・意見交換</li> </ul>

## (5) 市の取組や陸羽東線に関する新聞記事

**連載記事**

**走れ！ 陸羽東線**

**（5）市の取組や陸羽東線に関する新聞記事**

**なくさない 議論スタート**

**「魅力発信・経営安定化 共有を」**

**大崎市など初の会議**

**100円得る経費1620円 20年度**

**古川温泉**

**便利？ 不便？ 市職員 通勤してみて チェック**

**陸羽東線 利活用策に反映**

**河北新報**

**大崎市が公共交通データー**

**鉄路存続へ地域課題探る**

**リポート みやぎ**

**大崎市、相次ぎ懇談会**

**連載記事**

**鐵道開業150年企画**

**東北横断の一翼 担う 「湯けむりライン」の愛称も**

**↑「朝日新聞」（令和4年10月21日付21面）**

**↑「大崎タイムス」（令和4年10月29日付1面）**

**↑「河北新報」（令和5年1月12日付16面）**

**↑「河北新報」（令和4年12月17日付16面）**

## (6) 各地域懇談会意見・提案一覧

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
1	短期	意識醸成	市民	市内高校新聞部が各駅をPRし、それぞれの知名度を上げる。
2	短期	意識醸成	市、関係機関	幼稚園・保育園・こども園及び小中学校の行事や授業に電車の乗車体験を入れてもらう。
3	短期	意識醸成	市、市民、公共交通事業者、関係機関	車窓からみた風景の絵画コンクールを行う。そのほか、電車内のワークショップ、芸術活動との共催事業を実施する。
4	短期	意識醸成	市、市民、公共交通事業者、事業者、関係機関	全国ローカル線の成功事例を研究する。
5	短期	環境整備	市、市民、公共交通事業者、事業者	地元の駅の清掃ボランティアを定期的に行う。
6	短期	環境整備	市、市民、公共交通事業者、事業者	ボランティアを募って電車に乗り、駅の清掃活動ツアーを行う。陸羽東線の事をみんなで考え、必要不可欠な交通手段であることを市民からメディアを通じてアピールする。
7	短期	観光	市、事業者	陸羽東線の各駅でオルレのコースを掲示してPRする。また、コース内にスタンプを設置して、スタンプをすべて集めた人に景品をプレゼント。
8	短期	観光	市、市民、公共交通事業者、事業者	クイズ大会を開催し、陸羽東線の各駅で地区・地域の名産等のクイズを出題し、正解者に特産品をプレゼントする。
9	短期	観光	市、市民、事業者	農家民泊を推進するとともに、鉄道を使った旅行やイベント企画を提案する。
10	短期	観光	市、市民、事業者、関係機関	地元のネタを有効に活用し、陸羽東線の活性化に向けて他の自治体との連携を進める。
11	短期	観光	市、市民、公共交通事業者、事業者	JR東日本の「駅長オススメの小さな旅」用に地域の観光資源を磨く。
12	短期	観光	市	インフルエンサーライブや有名人とのコラボでyoutubeチャンネルを開設し、情報を発信する。
13	短期	観光	市、市民、事業者	季節に応じたイベントを行う（春：お花見スポット 夏：花火大会 秋：紅葉のライトアップ 冬：鳴子雪まつり等）。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
14	短期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	スタンプラリーを開催する（主要な駅にスタンプ台を設置し, 陸羽東線を利用してスタンプを押した台紙を旅館や飲食店で見せると割引などのサービスを受けられるようにする）。
15	短期	観光	市, 事業者	市内観光地を巡るツアーを行う。
16	短期	観光	市, 市民, 事業者	市内高校生に陸羽東線のPRをしてもらいメディアに取り上げてもらう。
17	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	利用者が少ない駅でイベントを開催する。または, 各駅に「インスタ映え」する場所を作る。
18	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者	陸羽東線の各駅にパンフレットを置いたり, 地域の特性が分かるようなポスターを掲示したりして, 乗客に見てもらう。
19	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者	駅のイメージを良くする (①イルミネーションで無人駅を装飾して明るく照らす。②駅で音楽をかける。③列車が到着する頃に音楽をかける)。
20	短期	観光	市	陸羽東線の魅力をポスターで伝える (①ポスターをプロに作製してもらう。②近隣の小中高からポスターデザインを募集する)。
21	短期	観光	市, 公共交通事業者	陸羽東線のマスコットキャラクターを公募で作成し, そのキャラクターのイベントを開催してPRしたり, グッズを販売したりする。
22	短期	観光	事業者	陸羽東線と特産品をコラボさせる。
23	短期	観光	市, 市民, 事業者	鳴子の撮り鉄が撮影しやすい場所で, 有料の写真撮影会を実施する (写真撮影会と陸羽東線の利用をセットで行う)。
24	短期	観光	公共交通事業者	紅葉時期に期間限定の列車を運行する。
25	短期	観光	市, 市民, 事業者	「湯けむりマルシェ」のような駅での催事を定期的に開催する。
26	短期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	道の駅や鳴子温泉などでイベントを開催し, その際に陸羽東線を利用して来場した人に特典を付ける。
27	短期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	観光スポットを開拓し, そこまでの移動も併せて整備する。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
28	短期	観光	市, 事業者	観光ポイント同士を繋いで、一日のロケーションを提案して、移動手段も連携させる。
29	短期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	駅や駅付近、または電車内でのイベントを企画する。
30	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	紅葉のライトアップなど、電車に乗らないと見られない景色を見てもらう。
31	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	PR動画を作成して、配信する。
32	短期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	陸羽東線を利用した観光プランをつくる（鳴子峡プラン、温泉めぐりプランなど）。
33	短期	観光	市, 市民, 事業者	鳴子温泉駅で、温泉でつくったスイーツを無料配布する。
34	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	PR動画を作成する。
35	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	有備館駅、鳴子御殿湯駅、鳴子温泉駅など、イベントを行えるようなスペースのある駅で定期的にイベントを行う。
36	短期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	意識して列車を利活用する。
37	短期	生活利用	市	市職員の通勤手段として、鉄道の積極的利用を推進する。
38	短期	生活利用	市, 公共交通事業者	「陸羽東線の乗り方ガイド」を作成し配布する。
39	短期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	沿線の企業に向け、社員の電車通勤を促す優遇策などを検討する。
40	短期	生活利用	市	実際に乗ってみよう！陸羽東線に乗って他自治体や団体の視察研修に行く。
41	短期	生活利用	市, 関係機関	県・市職員の通勤に出来る限り利用してもらう。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
42	中・長期	意識醸成	市, 市民, 事業者	地域の誇れる魅力としての認識を高める。
43	中・長期	意識醸成	市, 公共交通事業者	小中高の授業の一環として、陸羽東線を利用した遠足を実施。また、総合的な探究の時間などで鳴子や岩出山の地域探究をテーマにしてもらい、現場に行く際には陸羽東線を利用してもらう。
44	中・長期	意識醸成	市, 公共交通事業者, 関係機関	各エリア（大崎市内や山形県側とも）の小学生の交流授業として、電車で移動し、違う土地の文化や歴史を学ぶ機会を作る。学校間の交流も行う。
45	中・長期	意識醸成	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	沿線住民一人ひとりが自分たちの問題として捉えて、協力連携していく。その推進役を行政が責任を持って進める。
46	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者	西古川駅構内の連絡橋をなくすなど、バリアフリー化を進めて高齢者が利用しやすい駅にする。
47	中・長期	環境整備	市, 公共交通事業者, 事業者	パークアンドライドの推進。
48	中・長期	環境整備	市, 事業者	駅周辺の整備（案内板の設置、取り付け道路、街路灯の整備など）。
49	中・長期	環境整備	市, 公共交通事業者	駅舎のバリアフリー化を進める。
50	中・長期	環境整備	市, 公共交通事業者	塙目駅の移設または改修を行う。
51	中・長期	環境整備	公共交通事業者	有事の活用（災害などの際は、人・物資の輸送で太平洋から日本海につながるルートの確保は非常に重要）を見出す。
52	中・長期	環境整備	公共交通事業者	トンネルを工夫する。真っ暗なイメージを払拭する。
53	中・長期	環境整備	市	無人駅の駐車場を増やす。
54	中・長期	環境整備	公共交通事業者	駅のホームにコインロッカーを設置する。
55	中・長期	環境整備	市	駅前に駐車場、駐輪場を設置する。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
56	中・長期	環境整備	市, 公共交通事業者	高齢者が利用しやすい駅舎に向けて、駅構内跨線橋を改善する。
57	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	皆で感心を持ち, 1.利用する 2.乗りやすい環境をつくる 3.魅力ある鉄道をつくる4.多くの人に愛され老人や子どもたちにやさしく, 乗りたくなるような車両の整備を整備する5.企画列車を増発する。
58	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	駅舎の整備（特にトイレ）や駅等の整備を促進し, 利便性の向上を図る。
59	中・長期	環境整備	市, 公共交通事業者	バリアフリー化を早急に促進する。
60	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	沿線環境を整備する。
61	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者	駅舎を活用する。
62	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	各駅に本棚を設置して, 自由に読めるようにする。
63	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	陸羽東線の各駅と遊休施設との連携を進める。
64	中・長期	観光	公共交通事業者	鳴子温泉駅まで特別列車を運行する。
65	中・長期	観光	公共交通事業者	古川駅～鳴子温泉駅間で, ノンストップ列車を運行する。
66	中・長期	観光	公共交通事業者	四季ごとの列車や, 鳴子温泉巡り旅列車, 有備館, 伊達政宗歴史めぐりの旅列車, スキー列車, 芋煮列車 など運行する。
67	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	JRの「駅長オススメの小さな旅」に沿線各地域がJRに協力し企画する。また, 公民館事業として陸羽東線を利用した独自のまち探検を企画する。
68	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	グリーンツーリズムに鉄道を取り入れた企画を提案する（車窓から居久根を眺めるツアーなど）。
69	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	鬼首の魅力アップに努める（出来れば大崎市全体のイメージを鬼首のハイルンド, チロル風の清潔なイメージで統一し, これを新幹線古川駅で統一する）。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
70	中・長期	観光	市, 事業者	北欧のイメージを導入・構築するに当たっては、市内に存在する企業からの支援も仰ぐ。
71	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	古川駅の駅名を「ガルデノール仙台 仙台北駅」に改名し、都市部からの注目度をアップする。
72	中・長期	観光	公共交通事業者	古川駅～鳴子温泉駅間直行便を新設する。
73	中・長期	観光	公共交通事業者	仙台駅又は小牛田駅から鳴子温泉駅間の1日フリー切符を販売し、さらに有備館と温泉の利用ができるお得感満載のプレミアム切符を販売する。
74	中・長期	観光	公共交通事業者	特典がついてお得な切符（例：日帰りパック（入浴・食事付））を販売したり、小中学生の校外学習列車、高校生職業体験列車など運行する。
75	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	外国人観光客を呼び込む。
76	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	JR利用者限定のお得なパック旅行を企画する（家族や各世代で滞在期間中も楽しめるもの）。
77	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	外国人限定のお得なパック旅行を企画する。
78	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	市の観光資源を活用しながら周遊する企画を立案する。JRや旅行会社と市町村が連携協力することで集客率の高いものができると思う。
79	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	陸羽東線に乗って鳴子温泉に行けば何からもらえるキャンペーン（①駅でキノコ汁を振る舞う②温泉に入った人にコーヒー牛乳をプレゼント③宿泊料金を割引する④JRからのプレゼント企画実施等）。
80	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	鳴子の各スキー場を活用する（スキー用具を積みやすいように車両を改良する。陸羽東線を利用してスキー場へ来た人はリフト券の割引や食事の割引を行うなど）。
81	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	子供向けのイベントを開催する（①「ポケモンGO」とコラボする。②陸羽東線の「トミカ」を作る）。
82	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	「有名人と一緒に進行る陸羽東線ツアー」と称し、列車内やホテル内で有名人と触れ合えるイベントを企画する。
83	中・長期	観光	公共交通事業者	運賃の土日割を行う。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
84	中・長期	観光	公共交通事業者	列車内にフリーWi-Fiを整備する。
85	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	停車駅にその場所をイメージしたキャラクター像などを置く。または各駅にアニメのキャラクター像を置く（人気のあるアニメ作家とコラボする）。
86	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	陸羽東線のCMをつくる。また自虐CMも逆に効果が期待される。
87	中・長期	観光	公共交通事業者, 事業者	鳴子温泉プロデュースの陸羽東線限定の温泉弁当を作る。それをSNSで発信して販売する。車内販売も行う。
88	中・長期	観光	市, 事業者	陸羽東線の駅の近くに宮城県には無い有名な店（例えば飲食店など）を誘致する。駐車場スペースは無くし、列車でないと来られないようにして、陸羽東線の利用促進を図る。
89	中・長期	観光	市民, 公共交通事業者, 事業者	鳴子温泉駅でしか買えないPB商品(鳴子独自の商品)を作成し駅で販売する。
90	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	鳴子オリジナルの「こけしスイーツ」をパティシエに作製してもらおうか、一般から公募し、SNSで配信して流行させる。また、「こけしスイーツ」を陸羽東線の乗客限定で販売する。
91	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	古川駅から鳴子温泉駅間で、乗車距離によりポイント付与し、ポイントに応じて宿泊代を割引・お土産購入補助券を発行する。
92	中・長期	観光	公共交通事業者	スキー列車（列車利用でリフト券割引など）を運行する。または列車利用者限定イベントを開催する。
93	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	人を呼ぶ資源はある（温泉・史跡・食）。運賃を割引するなど電車で来るメリットがあることが重要だと思う。
94	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	電車はお酒が飲める移動手法だと思うので、市内の酒蔵を巡るツアなどができるないか。
95	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	陸羽東線の駅を拠点とし、世界農業遺産大崎耕土ウォーキングイベントを定期開催したり、鉄道から見た屋久根景観体験ツアーを企画したりするほか、古川駅からツアーコンダクター同乗の企画を実施する。
96	中・長期	観光	公共交通事業者	世界農業遺産大崎耕土でSLを運行し、さらにSL運行を（仮称）陸羽鉄道株式会社として実施する。
97	中・長期	観光	公共交通事業者	「TRAIN SUITE 四季島」の定期運行回数を増加させたり、「四季島」からのミニツアーを実施したりする。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
98	中・長期	観光	公共交通事業者、事業者	車両の中に様々なアニメのコスプレ用具一式とメイク道具一式、簡易撮影スタジオ、カメラを揃える。乗車運賃に全ての料金を入れて、降車するまでコスプレができる列車を運行する。
99	中・長期	観光	公共交通事業者	こたつ列車や足湯列車、猫カフェならぬ猫列車を運行する（+1,000円払うとドリンク等のサービスを受けられるなど）。
100	中・長期	観光	公共交通事業者、事業者	車内で地場産品を販売したり、映画を上映したり、車内をカラフルにしたりする。
101	中・長期	観光	公共交通事業者	ハロウィンの時期に外観と内装を暗い感じにした、ホラー車両をつくる。
102	中・長期	観光	公共交通事業者	らくがきOKの列車をつくる。車内にアニメなどのグッズをたくさん置く。
103	中・長期	観光	公共交通事業者	有名な曲を駅のホームや車内で流す。
104	中・長期	観光	公共交通事業者、事業者	車両の中で謎解きイベントやくじ引きを実施する。景品は、地元の商品券等にする。
105	中・長期	観光	公共交通事業者	猫駅長や犬駅長など、動物をおもてなし駅長にして鳴子温泉駅で勤務してもらう。
106	中・長期	観光	市、事業者	温泉を使った温水プールをつくり鳴子の目玉にする。
107	中・長期	観光	市、市民、事業者	駅舎を「千と千尋の神隠し」風にする。「隠れミッキー」ならぬ「隠れカオナシ」（「カオナシ」はキャラクター、温泉地なので）。
108	中・長期	観光	市、市民、事業者	カフェをつくる。
109	中・長期	観光	市、市民、公共交通事業者、事業者	アニメとコラボする。駅にアニメキャラクターの等身大掲示物を置いたり、イラストのスタンプを作ってスタンプラリーをして全部集めたらグッズをプレゼントする。
110	中・長期	観光	市、公共交通事業者、事業者	車両の至るところにこけしを付けて、鳴子のイメージをもってもらう。
111	中・長期	観光	公共交通事業者	ラッピング列車を走らせる。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
112	中・長期	観光	市、市民、事業者	鬼首スキー場を有名なスキー大会の会場としてPRし、スキー場までの移動手段として陸羽東線を利用してもらう。
113	中・長期	観光	市、事業者	道の駅やキャンプ場、バーベキューができる施設をつくる。その場所へは手ぶらで来られるようにして学生も利用しやすくする。
114	中・長期	観光	公共交通事業者、事業者	陸羽東線内でしか購入できない食べ物などの特典を付けて、陸羽東線の付加価値を上げる。小牛田行きに宮城のお土産、新庄行きに山形のお土産を販売する。
115	中・長期	観光	公共交通事業者	仙台から鳴子まで直通列車を運行する。
116	中・長期	観光	市、市民、公共交通事業者、事業者	各駅に特徴を持たせる。
117	中・長期	観光	市、公共交通事業者、事業者	沿線地域でビアガーデン列車を運行する。また、車窓からのスポットや観光マップ、フォトスポットを紹介する。
118	中・長期	観光	公共交通事業者	定期的にイベント列車（ミニみのり号など）を走らせて沿線地域の知名度アップを図る。
119	中・長期	観光	市、公共交通事業者、関係機関	市町村横断型の「陸羽東西線利用推進協議会（既存）」との連携、事務局強化による官民の連携を強化する。DCの時の連携実績も参考になるのではないか。
120	中・長期	観光	公共交通事業者	地元ならではの企画列車（湯めぐり列車（駅からの二次交通は必須）、地酒列車、婚活列車、スノーリー列車）などを運行する。
121	中・長期	観光	公共交通事業者	紅葉期の列車利用は非常に多いと思うので、鳴子峡のトンネルから鉄橋の眺めを見る為に鳴子温泉駅→中山平温泉駅の往復シャトル列車を1時間おきくらいに走らせる。
122	中・長期	観光	公共交通事業者	鳴子オルレコースや芭蕉の奥の細道ウォーキングコースはスタートとゴールが離れているので、車で来た人はスタート地点に戻るのに苦労している。シャトル列車があれば利用が多くなると思う。
123	中・長期	観光	市、公共交通事業者、事業者	陸羽東線だけでなく、仙台→(仙山線)→山寺駅→(奥羽本線)→新庄駅→(陸羽東線)→鳴子温泉駅・宿泊→古川駅→平泉方面など広域観光圏を構築する。仙台を起点に芭蕉の足跡を鉄道で巡る旅を描く。
124	中・長期	観光	公共交通事業者	C58-239 (CB58形蒸気機関車) を使い、土日祝日で「SL湯けむり」を運行する（小牛田～新庄）。
125	中・長期	観光	公共交通事業者	「SATONO」を使用したツアー列車を運行する。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
126	中・長期	観光	公共交通事業者、事業者	旅行会社と協力し「カシオペア紀行in鳴子」を（東北本線・陸羽東線）運行する。
127	中・長期	観光	公共交通事業者、事業者	HB-E300形気動車を新造し「リゾートみのり」を復活させる。
128	中・長期	観光	公共交通事業者	国鉄時代の急行ダイヤを再現し、急行を運行する。
129	中・長期	観光	公共交通事業者	特別仕様列車を運行する。
130	中・長期	観光	市、市民、公共交通事業者、事業者	「湯けむりライン」の歌を作る。
131	中・長期	観光	公共交通事業者	自転車人気が高まっていることから、自転車愛好家のためには列車の使い方を考える。
132	中・長期	経営環境	市、市民、公共交通事業者	SDGs未来都市の関連で、石巻～酒田間の貨物輸送復活の運動を促す。
133	中・長期	経営環境	市、公共交通事業者、関係機関	鉄道は重要な社会インフラであり、民営化しても乗客が少ないので廃止するのではあまりにも工夫がない。諸外国(ドイツ・フランスなど)では民営化に移管後、数年で国営化に戻した事例がある。
134	中・長期	生活利用	市、市民、公共交通事業者	陸羽東線の乗車切符を提供する（大崎市広報の一部分に無料乗車券を添付する）。
135	中・長期	生活利用	市、関係機関	西古川駅は、西古川地域が旧古川市に編入となるまで中新田駅という名称だった。加美郡の玄関口として利用の多い色麻町・加美町との連携が必要と考える。
136	中・長期	生活利用	市、市民、公共交通事業者、事業者	切符を購入して乗車する場合にはポイントが付き、獲得ポイント数によって特典がもらえるようにする。
137	中・長期	生活利用	市、市民、公共交通事業者、事業者	古川駅構内にスーパー等があると、高齢者にとって鉄道を利用する機会が増えるものと考える。
138	中・長期	生活利用	市、公共交通事業者、事業者	古川駅のピボット跡地に各種クリニックを誘致する（患者は列車を使って通院）。
139	中・長期	生活利用	市	市民病院最寄り駅の塚目駅を活用する。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
140	中・長期	生活利用	公共交通事業者	通学手段について、登米・栗原圏からの通学利用者を増やすためにダイヤ改正を行い、利便性の向上を図る。
141	中・長期	生活利用	公共交通事業者	運行する本数自体は変えずに、利用者が多い時間帯の本数を増やし、利用者の少ない時間帯の本数を少なくする。
142	中・長期	生活利用	公共交通事業者	運賃を時間帯によって変動制にする。例えば利用者が多い時間帯は運賃を上げる。利用者の少ない時間帯は運賃を下げる。
143	中・長期	生活利用	公共交通事業者	陸羽東線の利用者を時間帯によってリサーチし、乗客が極端に少ない時間帯を廃止する。
144	中・長期	生活利用	市、事業者	定期券購入時に補助するか、または地域の飲食店活性化のため乗車券に晩酌券をつける。
145	中・長期	生活利用	市、公共交通事業者	古川地域では循環バス（100円バス）が走行している。岩出山・鳴子地域でも運行し、特に駅を中心とした運行とする。列車利用者は無料とし、駅に人を集めること。
146	中・長期	生活利用	市、関係機関	山形県側との交流を促す。地域サービス券などを発行し、お互いに陸羽東線で行き来するような企画を立てる。
147	中・長期	生活利用	市、市民、公共交通事業者	免許返納者向けに電車やバスの年間乗車パスポートを発行する。
148	中・長期	生活利用	公共交通事業者	小牛田駅で乗り換え無しの列車を運行する。
149	中・長期	生活利用	市、市民、公共交通事業者	乗って残そう陸羽東線運動として、月4回以上の利用目標の設定や利用者へのメリット感付与などを展開する。
150	中・長期	生活利用	市、市民、事業者	陸羽東線を利用することを条件とした住宅新築支援として、通勤・通学を条件とした住宅新築費の一部助成や、駅を中心としたまちづくりを推進する。
151	中・長期	生活利用	公共交通事業者	JR古川駅新幹線接続ダイヤとして、必要最小限の運行ダイヤとし、現在から減便し経費節減する。朝夕の通勤・通学時間帯を重視した運行ダイヤにする。
152	中・長期	生活利用	公共交通事業者	トラック代替輸送としての貨物列車の運行する。鉄道貨物輸送企業の募集（脱化石燃料、BDF化など）したり、トラック貨物積み込みターミナルを整備したりする。
153	中・長期	生活利用	市、公共交通事業者、事業者	古川駅の空き店舗に、診療所など高齢者の利用率が高い施設を整備する。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
154	中・長期	生活利用	市, 関係機関	教職員や公務員の方々は自家用車通勤ではなく、陸羽東線等の公共交通機関を利用する。
155	中・長期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	陸羽東線を利用している会社員に対し減税する。もしくは定期券割引率を増やす。
156	中・長期	生活利用	事業者	企業内で陸羽東線利用者に対して勤務時間を優遇する。
157	中・長期	生活利用	市, 事業者	新幹線を除く鉄道利用者を促進した沿線企業に対して減税を実施する。
158	中・長期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者, 関係機関	一ヶ月に一回利用感謝デーを作り、利用している人に色々なことをする（地場産品などを配る）。
159	中・長期	生活利用	市	職員皆さんの協力によって定期的に陸羽東線利用促進に向け”チャレンジデー”をぜひ実現してほしい。その結果のデータが今後の大きな課題になるだろう。
160	中・長期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者	JRとの関係強化並びに利用者との関係を強化する。
161	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	列車ダイヤと市内循環バスの接続を検証する。
162	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者, 関係機関	学校で運行している数本のバスで、列車利用できる途中の駅まで送迎する。
163	中・長期	二次交通	市	レンタサイクルや循環バスの増強など、観光客のために二次交通を整備する。
164	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	駅から会社までのバスを運行する。
165	中・長期	二次交通	市, 市民, 公共交通事業者	デマンドタクシーと陸羽東線を利用した時に、何らかの補助をする（利用促進→地域内→各JR駅→古川）。
166	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	大崎市内各地域で運行しているデマンドタクシーは登録制であることから、登録者の名簿を各地域が共有して、他地域でもデマンドタクシーを利用できるようにする。
167	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	鳴子地域の地域公共交通を陸羽東線ダイヤとリンクさせるために、地域公共交通アクセスの改善やデマンド交通（地域公共交通）の拠点の改善を図る。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
168	中・長期	二次交通	市, 市民, 公共 交通事業者	小中学校のスクールバス路線を地域内の駅の起点とし, スクール バスを小型化したり, 駅を中心とした家族送迎を推進したりする。
169	中・長期	二次交通	市, 公共交通事 業者	陸羽東線を中心として, バスやタクシー, レンタサイクルなどを まとめて, 月謝制などで利用できるようにする。
170	中・長期	二次交通	市, 公共交通事 業者	駅からの二次交通の拡充。
171	中・長期	二次交通	市, 公共交通事 業者	二次交通網の整備。
172	中・長期	まちづくり	市, 市民, 公共 交通事業者	陸羽東線の各駅に公的施設（支所的機能）を作成, 運営する。
173	中・長期	まちづくり	市, 事業者	大崎市民会館の建て替えは, 古川駅と一体的な, 収容人員3,000 人程度のものとし, 列車を活用した東西南北からの集客戦略を構築 する。
174	中・長期	まちづくり	市, 事業者	駅の近くに若者が多く利用する施設をつくる。例えば大型のアウ トレットモールやボールパーク等を招致する。
175	中・長期	まちづくり	市, 関係機関	日本語学校を誘致し, 廃校の小学校の利活用と電車利用者増を目指す。ゆくゆくは岩出山高校の学力向上にも繋がるのではないか。
176	中・長期	まちづくり	市, 事業者, 関 係機関	駅周辺に企業を誘致する。
177	中・長期	まちづくり	市, 事業者, 関 係機関	陸羽東線沿線上に大学・企業を誘致する。
178	中・長期	まちづくり	市, 事業者	古川駅をもっと魅力的にする（駅周辺の開発・再開発）。
179	中・長期	まちづくり	市, 事業者	目的駅付近で用事が完結するような町の整備や, 利便性の高い駅 からの交通手段の整備を促進する。
180	中・長期	まちづくり	市, 公共交通事 業者, 事業者	駅前の活性化と駅舎のバリアフリー化。
181	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業 者	鳴子温泉街の活性化を図る。商店街の高齢化で意見が出にくく, 若手の意見が反映してこなかった。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
182	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業者, 関係機関	都市部から若い移住者を増やし, 子どもを産み, 育てて, 将来利用者の増を図る。
183	中・長期	まちづくり	市, 事業者, 関係機関	鳴子温泉郷を大崎市のベッドタウン化する。温泉に入って生活し, 鉄道の安定した高速性を活かして通勤。連動して駅からの二次交通網の整備が進み駅周辺は生活者のための飲食店や商店ができる。

## (7) 高校生タウンミーティング参加者意見・提案一覧

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
1	短期	観光	市民, 公共交通事業者, 事業者	各駅の前で、食べ歩き可能な大崎の名物を販売する。また、電車を使って来場したら、割引になるようとする。
2	短期	観光	市民, 公共交通事業者	駅前で、市内高校の吹奏楽部や軽音楽部が演奏して観光客をお出迎えする。
3	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 関係機関	陸羽東線の車両を活用して婚活イベントを実施する。
4	中・長期	環境整備	市, 市民, 公共交通事業者	無人駅を高校生や一般利用客がボランティアで清掃を行う。高校生の利用向上のために、自転車を持ち込むようとする。
5	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	列車の内装を「SNS映え」するようにデザインして、生活利用者や観光客にSNSで発信してもらう。
6	短期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	四季ごとに大崎市内を巡る観光ツアーを企画する。運賃を無料にするよりも、陸羽東線を使っていきたくなるような観光スポットづくりやイベントの実施が大切である。
7	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	スタンプラリーを実施して景品をプレゼントしたり、陸羽東線で大崎市に来てくれた方にお菓子をプレゼントする。
8	短期	観光	市民	市民や観光客が、SNSを活用して陸羽東線の情報や魅力を発信して、PRする。
9	中・長期	生活利用	公共交通事業者	沿線高校のテスト期間に合わせて運行ダイヤや車両数を見直す。

## (8) 市民提言一覧

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
1	短期	意識醸成	市、市民	えちごトキめき鉄道(株)代表取締役社長鳥塚亮氏にご意見を頂戴する。
2	短期	意識醸成	市、市民、公共交通事業者、関係機関	陸羽東線利活用アイデアコンテストを開催する。
3	短期	意識醸成	市、市民	交通・鉄道系にテーマを絞ってYouTubeで発信している人の意見を聞く。
4	短期	意識醸成	市、公共交通事業者	大崎市の独自性のあるCO2削減取り組みの一つとして、公共交通車を利用するメリットをアピールする。
5	短期	意識醸成	市	市長の乗車記をSNSで逐次公表する。
6	短期	観光	市、市民、公共交通事業者、関係機関	陸羽東線に関連した写真コンテストや観光地でゆかたコンテストを開催する。
7	短期	観光	市、事業者	鳴子温泉郷の宿泊施設と連携し、シングルマザーや障害者を抱えた家族のツアーや孫旅（孫と祖父母）を企画する。
8	短期	観光	市、事業者	陸羽東線を使った宿泊・観光ツアーを企画する。
9	短期	観光	市民、公共交通事業者、事業者	鉄道を利用したマルシェを開催する（例：あら伊達な道の駅などの物産や沿岸部の海産物を輸送する）。
10	短期	観光	市、市民、事業者	岩出山・鳴子温泉地域へ大型イベントを誘致（または旧市町で行っているイベントを集約）し、陸羽東線の利用を推進する。
11	短期	観光	市、事業者	陸羽東線や市民バスを利用して、途中下車しても観光できるモデルコースを具体的に示す。
12	短期	観光	市、市民	沿線住民に対して、「列車に手を振る」キャンペーンを展開する。
13	短期	観光	市、市民、公共交通事業者、関係機関	駅周辺や沿線地域で定期的にイベント（祭り、スポーツイベント等）を実施する。
14	短期	観光	市、市民、公共交通事業者	機関車、列車への感謝イベントを開催する。
15	短期	観光	市	映像地としての売り込みと協力を得る。
16	短期	観光	市、事業者	温泉街近くにトレッキングコースを整備する。
17	短期	観光	市、公共交通事業者、関係機関	列車を利用してスタンプラリーを実施する。
18	短期	観光	市、市民、関係機関	各史跡を整備し、PRする。
19	短期	観光	市、市民、事業者	鳴子温泉郷の散策プランにおいてこけし以外の案を考える。
20	短期	観光	市、事業者	沿線に話題になるようなデータスポットを作る。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
21	短期	観光	市, 事業者	駅周辺の、歩いて行ける名所がまとめられているSNSやガイドを作成する。
22	短期	生活利用	市	沿線庁舎で会議がある際は、市長はじめ市役所職員が陸羽東線を利用し支所へ向かう。
23	短期	生活利用	市, 関係機関	市・県教委などと広く連携し、陸羽東線の乗車とセットにした児童向け校外学習のプログラム(世界農業遺産関連)を立ち上げる。
24	短期	生活利用	市	市役所、合同庁舎勤務職員が、当番制で陸羽東線を通勤に利用する。
25	短期	まちづくり	市、公共交通事業者	乗ってアイディアをもらうWSを実施する。
26	中・長期	意識醸成	市、事業者	宮藤官九郎氏に陸羽東線ものがたりを作ってもらう。
27	中・長期	意識醸成	市、市民、公共交通事業者	地域の小学生に車両の清掃体験を募集して地元に愛着をもってもらう。お礼に地元のお菓子や片道切符を渡す。
28	中・長期	意識醸成	市、公共交通事業者	地域の小学校の社会見学の場として陸羽東線を提供し、仕事を身近に感じてもらい愛着を持ってもらう。
29	中・長期	意識醸成	市民	レンタカー観光や車依存を辞める。
30	中・長期	意識醸成	市、公共交通事業者、関係機関	園児、小中学生の列車利用の仕方やマナーなど、授業で乗り方教室を実施する(大崎管内全体対象)。
31	中・長期	意識醸成	市、市民、公共交通事業者、事業者、関係機関	鉄道の利用を積極的に呼びかける。
32	中・長期	意識醸成	市、市民、公共交通事業者、関係機関	陸羽東線の今後について、世代を問わず語り合う場を作る。
33	中・長期	環境整備	公共交通事業者	塚目～鳴子御殿湯間、中山平温泉にSuicaを設置する。
34	中・長期	環境整備	市、市民、事業者	観光地や自然環境を整備する。
35	中・長期	環境整備	公共交通事業者	古川から新幹線を分岐させて、陸羽東線を新幹線化する。
36	中・長期	環境整備	公共交通事業者	太平洋側と日本海側を結ぶ貨物列車を走らせる。また、旅客車両にも生鮮食品用の小型コンテナを入れて輸送に使う。
37	中・長期	環境整備	市、公共交通事業者、関係機関	デュアルモードビークルを検討する。
38	中・長期	環境整備	公共交通事業者	酒田駅発着列車を増便する。
39	中・長期	環境整備	市、公共交通事業者	インフルエンサーにSNSで魅力を発信してもらうために、各駅にWi-Fi環境を整備する。
40	中・長期	環境整備	市、市民、公共交通事業者、事業者、関係機関	上下分離方式を導入する。
41	中・長期	環境整備	市、関係機関	各駅に無料の駅前駐車場を整備する。
42	中・長期	環境整備	公共交通事業者	岩出山駅に折り返し用出発信号機を新設し、古川～岩出山駅間の増発による利便性の向上を図る。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
43	中・長期	環境整備	市、市民、公共交通事業者、関係機関	駅のホームに大きな看板（駅を象徴するもの）2枚を設置する。
44	中・長期	環境整備	市、公共交通事業者	BRT化する。
45	中・長期	環境整備	公共交通事業者	デマンド列車を運行する。
46	中・長期	環境整備	市、公共交通事業者、関係機関	新駅を設置する。
47	中・長期	環境整備	公共交通事業者	終点を新庄から中山平温泉駅までとする。
48	中・長期	環境整備	市、事業者	主要駅前にカーシェアリングポイントを設置する。
49	中・長期	環境整備	市、公共交通事業者	鳴子温泉駅のバリアフリー化を進める。
50	中・長期	環境整備	公共交通事業者	バスや職場、学校の時刻に合わせて時刻表を見直す。
51	中・長期	環境整備	公共交通事業者	自転車をそのまま持ち込み（サイクルトレインの運行）、乗り降りできるようにする。
52	中・長期	環境整備	市、市民、公共交通事業者、事業者	各駅のホームに花壇を設置する。
53	中・長期	環境整備	市、市民、公共交通事業者	西古川駅前にあるC58形19号を整備し存続させる。
54	中・長期	観光	市、市民、公共交通事業者	無人駅を利活用（保育園、温泉、サウナ、賃貸アパート、レンタルルーム、学習塾、パネル展示等）する。
55	中・長期	観光	市、市民、事業者	駅近くにキャンプ場（グランピング）施設を整備する。
56	中・長期	観光	市、公共交通事業者、関係機関	切符や定期に各種割引（家族割引、若者限定、宿泊割引、買い物割引等）をつける。
57	中・長期	観光	市、公共交通事業者、事業者	大崎市内の住民が山形県に陸羽東線を使って旅行や出張をすると、宿泊割引が受けられるようにするなど、山形県とも連携する。
58	中・長期	観光	市、公共交通事業者、事業者	特色ある乗車券（新幹線との乗り継ぎ格安切符、温泉入浴券付き切符、SL記念切符、1日フリーパスなど）を販売する。
59	中・長期	観光	市、市民、関係機関	沿線自治体と連携を深め、陸羽東線の魅力を深めるイベントを開催する。
60	中・長期	観光	市、事業者	「奥の細道湯けむり手形」を発行する。支援制度を受けられる旅館は利用者による投票制にし、地域活性化に必要な「宿の競争化によるクオリティの向上」を、利用者には「応援する機会」を創出する。
61	中・長期	観光	公共交通事業者	乗車している人へホームから窓越しに特産品を販売したり、立ち売り箱に駅弁を入れて販売したりする。
62	中・長期	観光	市、公共交通事業者、事業者	池月駅内に道の駅のサテライトを作る。
63	中・長期	観光	公共交通事業者	陸羽東線の利用チケット（特典付き）を販売する。チケット購入は基金として積み立し、運転維持の一部に充当する。
64	中・長期	観光	市、事業者	仙台駅2階や公共交通の積極的な利用者層に、大崎市も公共交通をメインとした受入れ体制が充実していることを継続的にPRする。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
65	中・長期	観光	公共交通事業者	ペットと乗れる列車を運行する。
66	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 関係機関	子ども向けに運転手さんの横で一緒に運転疑似体験ツアー（職業体験）を企画する。
67	中・長期	観光	公共交通事業者, 事業者	車両内に陸羽東線限定のお土産自販機設置や、Wi-Fi環境の整備、机・仮眠スペース設置など、車両に付加価値を持たせる。
68	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	特別列車の「ヘッドマーク」を貸し出し、祝い事で記念撮影に使ってもらう。中山平温泉駅にあった、C58のナンバープレートも。
69	中・長期	観光	市, 事業者	大崎・栗原方面の酒造とタイアップして、食事・入浴施設を充実させる。
70	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 事業者	只見線の事例を参考に、歴史的, 自然・環境的にも会津と酷似している陸羽東線の付加価値を、より一層高める。
71	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	「居久根」のある家を宿泊施設(民泊)として、親戚の家に来たような田舎体験、大崎耕土を体験出来る滞在プランを用意する。
72	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	東大崎駅・西大崎駅を活用し、大崎耕土の世界農業遺産アピールコーナーを新設する。
73	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	車内放送の声を公募する。
74	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	ヘッドマークデザインを公募する。
75	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 関係機関	鉄道旅の風情を短冊に書き、駅舎内に掲示すると沿線温泉の入浴割引になる「うた詠み湯めぐり」で全国の文芸愛好者を集客する。
76	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	駅の発着メロディに、さとう宗幸さんの『駅』を使用する。
77	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	車内で各駅を中心とする広報ビデオを放映する。
78	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	「TRAIN SUITE 四季島」の食堂車両を古川駅周辺で営業する。
79	中・長期	観光	市, 関係機関	関係機関と連携し、保養所を再生する。
80	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	イベント列車（例：婚活列車、カラオケ列車、新酒・新米列車、トロッコ列車、謎解き列車など）を運行する。
81	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 関係機関	グッズ、（沿線高校に開発してもらった）特産品を車内販売する。
82	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	JR東日本と連携して、鉄道ファン向けのイベントを実施する。
83	中・長期	観光	市民, 公共交通事業者, 事業者	乗客へささやかなプレゼントをする。
84	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	ふるさと納税100万円以上の返礼品で、ヘッドマーク入り特別列車を鳴子温泉まで往復運行し、1組5人までの宿泊優待を実施する。
85	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	鳴子温泉前に屋台村を開く。
86	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	軌陸車の借り上げ運行を行う。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
87	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	駅舎に賃貸でカフェやコミュニティセンター、直売所、保育施設や介護通所施設、ミニ図書館等の募集・併設を考える。
88	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 関係機関	紅葉シーズンに中山平温泉駅までの直通便を運行するか、鳴子温泉駅から中山平温泉駅までシャトルバスを運行する。
89	中・長期	観光	公共交通事業者	仙台や石巻方面から新庄酒田方面へ直通列車の運行を企画する。
90	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 関係機関	鉄道事業者, 行政, 市民団体(市民)が陸羽東線を応援できる仕組みをつくる。
91	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者	駅名を改称する, または副駅名を設ける。
92	中・長期	観光	公共交通事業者	鳴子温泉～最上駅間の「おためしきっぷ」を販売する。
93	中・長期	観光	公共交通事業者	陸羽西線無料利用DAYを実施する。
94	中・長期	観光	市民, 事業者	鳴子温泉～宿の送迎車を地域にも活用する。
95	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 関係機関	山形県とも連携して, 山形(新庄)と宮城(鳴子温泉)両方を楽しめる企画立案を進める。
96	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 関係機関	陸羽東線駅弁大会を実施する。
97	中・長期	観光	市, 公共交通事業者	陸羽東線のサブタイトルを「松尾芭蕉路線」として広報する。
98	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	大崎市の名物を復活させる。
99	中・長期	観光	市, 事業者	各温泉郷のパンフレットを見直す。デザインを統一する。
100	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	上野々スキー場を活用する。
101	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者	駅舎内にコミュニティールームを作り, 一休みできる場所を作る。
102	中・長期	観光	市	仙台駅・仙台空港で鳴子温泉郷をもっとPRする。
103	中・長期	観光	公共交通事業者	釜石線SL銀河を引き受け活用する。
104	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	乗車すると(乗車回数または乗車距離に応じて)景品がもらえたり, 特典が受けられたりするようにする。
105	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	動物駅長や陸羽東線のゆるキャラを製作し, グッズ販売したりパタ崎さんとコラボしたりする。
106	中・長期	観光	市, 公共交通事業者, 事業者	伊達武将隊(仙台or岩出山)と陸羽東線のコラボ商品を製作・販売する。
107	中・長期	観光	公共交通事業者	子供連れでも利用しやすいような車両を造る(キッズ専用車両の運行, 車両内に授乳室の設置など)。
108	中・長期	経営環境	市, 市民, 公共交通事業者, 関係機関	地域の小学校にラッピングカーの絵を募集して優秀なアイデアを実際にラッピング化し, 協賛企業の広告も一部に載せる。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
109	中・長期	経営環境	市, 公共交通事業者	クラウドファンディングを計画して経費に充てる。
110	中・長期	経営環境	公共交通事業者, 関係機関	車両に企業の広告掲載をする。
111	中・長期	生活利用	公共交通事業者	定期券にグレードをつけて座れるようなシステムを導入する。
112	中・長期	生活利用	市, 関係機関	首長、市・県議員等、市内外に影響を及ぼすような公的職務の方々に率先して利用してもらう。
113	中・長期	生活利用	市, 公共交通事業者, 事業者	大崎市内、美里町内の住民また勤務地がある方へ年1回ほど陸羽東線利用体験できるチケットなど配布する。
114	中・長期	生活利用	市, 公共交通事業者	市の職員全員が最寄駅からの定期券を購入する。
115	中・長期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者, 関係機関	6か月通勤定期券利用の市民に対するお買い物クーポン券を発行する。
116	中・長期	生活利用	市, 関係機関	大崎市職員の相乗り通勤を推奨する。駅を中心とした職域単位送迎者の手配を整備する。
117	中・長期	生活利用	市, 公共交通事業者, 事業者	シニア層向けに、市独自に乗車ポイントカード制度を作り、入浴料金割引サービス等を受けられるようにする。
118	中・長期	生活利用	市, 市民, 事業者	自宅最寄り駅までのアクセス確保のため、最寄り駅の空き地か民家の空きスペースの駐車場提供協力を要請する。
119	中・長期	生活利用	公共交通事業者	利便性向上のために、運行車両を減らし、本数を増やすほか、季節に合わせたダイヤ改正を試みる。
120	中・長期	生活利用	公共交通事業者	小牛田駅での東北本線・陸羽東線の乗り継ぎ時間を調整する。
121	中・長期	生活利用	市, 市民, 公共交通事業者, 関係機関	宅配業者と連携し、昼間に荷物の受け取りが困難な人が、有人駅で仕事終わりに荷物を受け取れるサービスを実施する。
122	中・長期	生活利用	市	子育て支援事業として学校・スポ少等団体利用時の補助金を出し、利用するメリットをアピールする。
123	中・長期	生活利用	公共交通事業者	片道運賃一駅50円の乗車券を発売する。
124	中・長期	生活利用	市	市役所職員の、冬場以外での自転車通勤を推進する。
125	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	塙目駅から無料バスを運行する（大崎市民病院行、大崎市役所行（古川黎明中高経由））。
126	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者, 関係機関	加美町と協力し、西古川駅から加美町各方面へ停車が少ないバスを運行する。
127	中・長期	二次交通	市, 市民, 交通事業者, 事業者	陸羽東線の駅につながる交通機関を充実させる。
128	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	市内タクシー業者、運送業者などと連携し、各地域のイベント時に各駅から会場までの乗り継ぎバスを運行する。
129	中・長期	二次交通	市, 公共交通事業者	学生の利便性向上のために、駅から各高校までシャトルバスを運行する。
130	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業者	行政が主体となって鳴子温泉郷をより魅力あるものへ再開発する。

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
131	中・長期	まちづくり	市, 関係機関, 事業者	大崎市全体にレンタサイクルを整備する。併せて歩道や自転車走行レーン、ロードバイク用の駐輪場を整備する。
132	中・長期	まちづくり	市民, 公共交通事業者, 事業者	古川駅構内の空き店舗にスポーツ施設や図書館の別館を設けるなど利活用を考える。
133	中・長期	まちづくり	市, 公共交通事業者, 関係機関	陸羽東線が道路になれば、東西に貫く幹線となり、中心市街地のアクセスが向上し、活性化に寄与する。
134	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業者	古川駅周辺に、住宅地・保育所を開発・整備して、仙台市通勤圏内や古川通勤圏内にして働きやすくする。
135	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業者, 関係機関	沿線に工場, 大学, 大型商業施設等のほかプロスポーツチームを誘致する。
136	中・長期	まちづくり	市, 公共交通事業者, 関係機関	古川商工会議所と連携し古川駅や駅前商店街の活性化を図る。
137	中・長期	まちづくり	市, 関係機関	宮城県が開設を目指す日本語学校を, 古川駅近隣駅周辺の廃校などをターゲットに誘致する。
138	中・長期	まちづくり	市, 事業者	「かのおが便利軒」に依頼する。
139	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業者	各駅の周辺に、テレワークが出来るカフェがあると良い。
140	中・長期	まちづくり	市, 市民, 事業者	沿線に子供が遊んで学べる場所があると, 将来の仕事や居住にもつながるもののが見えてくるのではないか。
141	中・長期	まちづくり	市, 市民, 関係機関	沿線の高校を統合する。
142	中・長期	まちづくり	市, 関係機関	廃校を利活用し, 企業・観光・福祉等の機能を持った施設を整備する。
143	中・長期	まちづくり	市, 事業者	沿線での空き家リノベーションで定住者や二重拠点者を増やす。
144	中・長期	まちづくり	公共交通事業者	緊急時の迂回経路としての位置づけを図る。

#### (8) ②鹿島台商業高等学校からの提案

No.	取組期間	テーマ	取組対象者	意見・提案内容
1	中・長期	観光	市, 市民, 事業者	「横断『大崎耕土』マラソン大会（仮称）」を実施し, 大崎耕土の魅力発信や地域経済の活性化につなげる。
2	中・長期	観光	市, 市民, 公共交通事業者, 関係機関, 事業者	「横断『大崎耕土』マラソン大会（仮称）」協賛企画として, 「陸羽東線大崎耕土横断鉄道プログラム」を実施する。

※「陸羽東線大崎耕土横断鉄道プログラム」…赤字路線解消と地域の経済効果を狙いとし, ①陸羽東線の「陸羽東線大崎耕土横断鉄道」への改称, ②駅名への大崎耕土関連施設名の付加, ③広域的な観光プランの企画, ④陸羽東線の特別割引切符の発売, ⑤大崎耕土の観光地化を実施するもの。



◀鹿島台商業高等学校による  
学習成果報告会（令和5年  
2月7日市長応接室）の様子

## (9) 市の取組（令和4年度・令和5年度）

No	概要	対象	取組内容	取組期間	担当部署
1	業務における陸羽東線の利用	監査委員・事務局職員	定期監査の際に鳴子総合支所まで陸羽東線を利用した。	令和4年10月19日	監査委員事務局
2	おおさき宝大使懇談会での意見交換	おおさき宝大使	おおさき宝大使懇談会において、陸羽東線の利活用促進に向けた検討状況を報告し、意見交換を行った。	令和4年11月14日	産業経済部 観光交流課
3	大崎市観光振興ビジョン戦略会議	委員8名	大崎市観光振興ビジョン戦略会議において、陸羽東線の存続と利活用促進をPRした。	令和5年1月23日	産業経済部 観光交流課
4	陸羽東線の利用促進PR	会員と一般市民	観光ガイド連絡協議会（SDGs研修会）において、陸羽東線の存続と利活用促進をPRした。	令和5年1月25日	産業経済部 観光交流課
5	大崎定住自立圏推進【地域防災】担当者会議での情報提供	1市4町の消防・防災担当職員	「まちづくり推進課」作製チラシを情報提供し、本市の取組も含め、圏域での利用促進を各町に提起した。	令和5年2月2日	総務部 防災安全課
6	大崎市消防団全団幹部会議	大崎市消防団全団幹部（団長、7支団の正副支団長外）	「まちづくり推進課」作製チラシを情報提供し、本市の取組も含め、本市消防団関係者の利用促進を提起した。	令和5年2月3日	総務部 防災安全課
7	陸羽東線利活用に関するワークショップの開催	市内9校の高校生44名及び市長、市役所職員	これから地域を担う若者と、陸羽東線の利活用をテーマとしてワークショップを開催し、大崎市の公共交通の未来について話し合った。	令和5年2月26日	市民協働推進部 政策課
8	移動農業委員会定例総会	農業委員、事務局	陸羽東線を活用した鳴子温泉地域（ホテル等）での総会の開催を検討している。	不定期	農業委員会
9	「TRAIN SUITE四季島」の見送りイベント参加（鳴子温泉駅にて）	岩出山保育所5歳児と職員	鳴子温泉駅～岩出山駅（見学後陸羽東線乗車体験）にて、「四季島」を見学後、乗車体験を実施した。	令和4年6月9日	民生部 子ども保育課 (岩出山保育所)
10	園外保育（旧有備館見学・乗車体験）で利用	園児・職員	西古川駅から旧有備館駅まで利用する。	令和4年11月1日、 令和5年11月7日	教育部 学校教育課 (にじの子幼稚園)

No	概要	対象	取組内容	取組期間	担当部署
11	列車で園外保育に行こう	園児・職員	保育所行事、園外保育では列車に乗る機会を取り入れタイアップし検討。子どもの体験談から親子での列車乗車体験・親子コミュニケーションに繋ぐ。	令和5年度	民生部 子ども保育課 (たんぽぽ保育所)
12	ロゴマークの作成	職員、官公庁、団体、企業、市民など	陸羽東線の利用を促進するための啓発用ロゴマークを作成する。	令和5年 2月～3月	市民協働推進部 まちづくり推進課
13	備蓄用ボトルドウォーター「鳴子の水」デザイン加工	「鳴子の水」利用者	「鳴子の水」のラベルデザインに陸羽東線利活用促進のロゴマーク等を入れる。	令和5年度 製造分	上下水道部 経営管理課
14	共通封筒キャッチフレーズ・ロゴ表示	市民、市来訪者、企業等	共通封筒にキャッチフレーズ・ロゴを印刷する。	令和5年 2月～ (納品は6月)	総務部 財政課
15	利活用促進に係るロゴマークの使用	官公庁、団体、企業、市民など	案内通知にロゴマークを記載する。	随時	各部署
16	ロゴ入り缶バッジ等の作成	来庁者など	職員が缶バッジを身に着け、陸羽東線の利活用促進等をPRする。	ロゴ完成後 から実施	総務部 秘書広報課
17	職員への公共交通通勤デーの周知・参加	所属部署職員	公共交通通勤デーについて職員に周知するとともに参加した。	令和5年 1月中旬～ 2月7日	全部署（市民病院等を除く）
18	陸羽東線の周知	園児	汽車や陸羽東線の駅名など園児に伝え、興味・関心を高める。	令和4年 12月～ 令和5年 3月末日	教育部 学校教育課 (鹿島台第一幼稚園)
19	職員への公共交通機関の利用を周知	鹿島台地域職員	鹿島台地域課長等会議において、通勤時にかかわらず公共交通の積極的利用について呼びかけた。	令和5年 1月・2月	鹿島台総合支所 地域振興課
20	外部メールや名刺での情報発信	業務関係者	当課外部メールの文末や職員の名刺などに、陸羽東線の利活用促進メッセージを記載する。	令和5年 3月頃から	総務部総務課 選挙管理委員会事務局
21	情報発信	イベント参加者	駅を発着地とした観光イベントの際に、鉄道の魅力を発信する。	令和5年 4月～5月	田尻総合支所 地域振興課

No	概要	対象	取組内容	取組期間	担当部署
22	糖尿病性腎症重症化予防事業医師講演会開催時における啓発	・国保加入者 約1,360名 ・後期高齢者 約440名	岩出山文化会館にて講演会を開催した。紅葉シーズンで渋滞が予想されたため、チラシに陸羽東線の時刻表を掲載し、公共交通機関を利用した来場を呼び掛けた。	令和4年11月5日	民生部 健康推進課
23	展覧会チラシへの陸羽東線掲載	市内公共施設(学校を含む)、市(県)外の美術館・博物館等	自主企画展チラシの交通案内地図に陸羽東線を掲載した。	令和4年11月～12月(配布期間)	教育部古川支局 市民ギャラリー
24	令和4年度こくほぽイント応募当選者への陸羽東線利用依頼	・鳴子温泉湯めぐりチケット当選者147人・特別賞当選者10人	当選通知の裏面に別添を印刷し送付する。	令和5年2月下旬 送付予定	民生部 保険給付課
25	令和5年度行事予定表への標語掲載	岩出山地域住民・企業・団体	岩出山まちづくり協議会の事業において、岩出山地域に全戸配布するカレンダーの毎月の余白部分に、陸羽東線の利活用を促進する「標語」の掲載を検討している。	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	岩出山総合支所 地域振興課
26	啓発用チラシの作成	職員、官公庁、団体、企業、市民など	陸羽東線の利用を促進するための啓発用チラシを作成した。	令和5年2月	市民協働推進部 まちづくり推進課
27	公民館講座における陸羽東線の活用検討	公民館講座受講者	公民館講座にて移動研修を行う際に、陸羽東線の活用を検討している。	令和5年度	教育部 松山公民館
28	公民館事業（はつらつ学級）における陸羽東線の活用	学級生（参加者）	「陸羽東線で行ってみよう～乗って応援～有備館駅周辺散策」 移動に陸羽東線（鳴子温泉駅～鳴子御殿湯駅～有備館駅）を利用した。	令和5年5月23日 (予定)	教育部 鳴子公民館
29	公民館事業（鳴子公民館講座）における陸羽東線の活用	参加者	陸羽東線を利用する移動研修の開催を検討している。	令和5年6月～11月 (予定)	教育部 鳴子公民館
30	陸羽東線で行く子ども歴史探検隊	大崎市内の小学校 5年生	陸羽東線を利用して、大崎市と新庄市の郷土の歴史を学ぶ。新庄市ふるさと歴史センター及び有備館及び内川の見学ツアーを企画する。	令和5年7月～8月 頃(※夏休みの企画として)	教育部 文化財課
31	特設展示コーナー	来庁者	岩出山総合支所市民ホールに「私たちの陸羽東線 今まで これからも」と題し、陸羽東線の歩みを映した写真や新聞記事の切り抜きを展示した特設コーナーを設置している。	令和5年1月27日～	岩出山総合支所 地域振興課
32	ローカル線の特別展示	来館者	図書館内に陸羽東線を含めたローカル線の特設コーナーを設置した。	令和4年12月～ 令和5年2月末日	教育部 図書館

No	概要	対象	取組内容	取組期間	担当部署
33	横断幕の掲示	来庁者、職員	陸羽東線の利用を促進するための横断幕を、本庁舎正面玄関に掲示している。	令和5年2月～	市民協働推進部 まちづくり推進課
34	横断幕掲示（A3版ラミネート加工）	来庁者	A3サイズの大きさ(幅)にした横断幕を、岩出山総合支所庁舎内の目の付く箇所(正面玄関入口、市民ホールのテレビ、トイレ、階段)に掲示している。	令和5年2月2日～	岩出山総合支所 地域振興課
35	陸羽東線の利用啓発（横断幕掲示）	申告来庁者	申告会場や控え室に陸羽東線の活用を呼びかける横断幕（「乗ろう！守ろう！陸羽東線」）を掲示している。	令和5年2月24日～3月15日	岩出山総合支所 市民福祉課
36	陸羽東線の利用啓発（横断幕掲示）	来庁者	陸羽東線利用促進のための横断幕を鳴子総合支所正面入口及び1階事務室内へ掲示している。	令和5年2月～	鳴子総合支所 地域振興課
37	トランシート四季島受け入れ事業	特別列車乗客・鳴子温泉郷観光客	令和4年4月～11月中にトランシート四季島の運行日に合わせて、下記の内容を実施し大崎市をPRした。 ・鳴子温泉駅構内でのお出迎え・お見送り ・鳴子温泉駅前「湯めぐり広場」での「湯けむりマルシェ」の開催 ・上記列車の利用者に対し、各種パンフレットやノベルティの配布 ・上記列車利用者に対し、公衆浴場の入浴無料サービスの実施 ・鳴子温泉駅周辺の商店（お土産屋、こけし店）の早朝営業の実施 ・鳴子御殿湯駅、岩出山駅、西古川駅周辺、松山駅周辺でのお見送り	令和4年4月～11月	産業経済部 観光交流課
38	観光推進事業	特別列車乗客・鳴子温泉郷観光客	令和4年7月と11月に鳴子で開催された「湯けむりマルシェ」において、特別列車乗客・鳴子温泉郷観光客を対象に抽選会を実施し大崎市をPRした。	令和4年7月・11月	産業経済部 観光交流課
39	観光推進事業	特別列車乗客	鳴子温泉駅構内で観光列車等のお出迎え・お見送り企画を実施した。 ・列車の利用者に対し、各種パンフレットやノベルティを配布。 ・令和4年4月9日「リゾートしらかみ」 ・令和4年10月8・9・22・23日「風っこ湯けむり号」	令和4年4月・10月	産業経済部 観光交流課

No	概要	対象	取組内容	取組期間	担当部署
40	観光振興事業（CM作成）	宮城県内	エフエムラジオ（エフエム仙台）にて、陸羽東線と鳴子温泉郷を題材にした20秒CMを放送した。	令和5年1月～3月	産業経済部 観光交流課
41	観光振興事業（観光ポスターの作成・掲出）	宮城県内・東北各県	2023年版観光誘客ポスターについて、列車が陸羽東線を走る様を撮影し、市内外の公共施設、観光施設、JR仙台駅などの東北主要駅に掲出した。	令和5年1月～	産業経済部 観光交流課
42	観光振興事業（ガイドブックの作成）	宮城県内・東北各県	2023年・2024年版観光ガイドブックの制作に当たり下記の内容を盛り込んだ。 ・表紙に列車が陸羽東線を走る様を使用 ・鉄道で巡るモデルコースを掲載 ・鉄道を使用したアクセスガイドを掲載	令和5年1月～	産業経済部 観光交流課
43	思い出アンケートの実施	来館者	陸羽東線の思い出等に関するアンケートを実施した。	令和4年12月～ 令和5年2月末日	教育部 図書館
44	市営バス鬼首線のダイヤ改正	利用者	陸羽東線のダイヤ改正に合わせ、市営バス鬼首線のダイヤを改正し、乗り継ぎを改善する。	令和5年4月(予定)	鳴子総合支所 地域振興課
45	鬼首地域内公共交通「鬼っこ号」定期定路線部分のダイヤ改正	利用者	陸羽東線のダイヤ改正に合わせ、市営バス鬼首線のダイヤを改正し、乗り継ぎを改善する。	令和5年4月(予定)	鳴子総合支所 地域振興課



◀陸羽東線を含めたローカル線の特設コーナー(展示期間：令和4年12月～令和5年2月 大崎市図書館)  
陸羽東線の思い出等に関するアンケートも併せて実施した。



◀陸羽東線の歩みを映した写真や新聞記事の切り抜きを展示した特設コーナー（展示期間：令和5年1月～岩出山総合支所1階市民ホール）

## (10) 地域の取組（令和4年度・令和5年度）

No	概要	取組内容	取組期間	地域
1	西古川駅構内に花を植える「花いっぱい運動」	西古川駅構内に花を植えて、陸羽東線利用者をおもてなしする。	令和5年 5月末	古川 (西古川駅前地区小学生と保護者、西古川商店街おかみさん会)
2	駅周辺の清掃活動	古川駅から学校までの道路沿いを清掃する。	令和5年 12月頃	古川 (古川高等学校生徒会)
3	行事カレンダーで陸羽東線の紹介	毎年発行している行事カレンダー内で陸羽東線の歴史や写真を掲載する。	令和5年 3月(発行)	岩出山 (岩出山まちづくり協議会)
4	陸羽東線利用者のおもてなし	一栗体育館を会場に「あ・ら・池月・再発見フェスティバル」を開催。池月駅下車のお客様に、優待券を配布し会場までご案内する。	令和5年 3月5日	岩出山 (池月地域づくり委員会)
5	会議での利用促進	総会ほか会議等で、利用促進を行う予定である。 (まずは乗ってみることから取り組む)	令和5年度	岩出山 (池月地域づくり委員会)
6	陸羽東線に乗ってゆく新庄研修旅行	委員会役員でも最近乗る機会がなく、課題を実感できていないことから、実際に陸羽東線に乗り、新庄(空き家対策視察)まで行く研修旅行を企画した。	令和5年 3月18日	岩出山 (岩出山地域づくり委員会)
7	メディアへの取材対応	TBC（東北放送）の取材を受け、陸羽東線の利用促進、存続のための活動の持続などについての必要性をテレビを通じて広く周知した。	令和5年 1月26日 (放送)	岩出山 (岩出山地域づくり委員会)
8	岩出山地域内「駅スタンプラリー」	岩出山地域内の駅周辺に、「駅スタンプ」を設け、指定のスタンプカードをもってスタンプを集めてもらい、先着何名かに記念品を贈呈する。	令和5年度	岩出山 (岩出山観光協会)
9	利用促進事業の周知徹底	鳴子温泉地域の6地域づくり委員会の事業予定を取りまとめ、各地域づくり委員会に周知し、協力いただく。	随時	鳴子温泉 (鳴子まちづくり協議会)
10	利用促進事業への協力	市をはじめ、鳴子温泉地域の6地域づくり委員会が開催するイベント、式典、大会等への参加者の協力する。	随時	鳴子温泉 (鳴子まちづくり協議会)
11	のぼり旗の作成・設置	陸羽東線をPRするのぼり旗を作成し、鳴子温泉地域内に設置する。	令和5年度	鳴子温泉 (鳴子まちづくり協議会)
12	過疎地域の課題検討	過疎地域3校とミーティングを行い、地域課題（鳴子温泉地域の実状、陸羽東線の復活に向けた意見交換、パワーポイント発表）の検討を行った。	令和4年度	鳴子温泉 (鳴子中学校)

# J R 陸羽東線の利活用促進 にかかる職員アンケート 調査結果

## 【目 次】

1 調査概要	.....	p. 1
2 質問項目	.....	p. 2～
3 集計結果	.....	p. 4～
4 集計結果に関する概要	.....	p. 11～

令和4年10月

大崎市市民協働推進部まちづくり推進課

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

このアンケートは、令和4年7月28日に、JR東日本から利用が少ない路線が開示されたことを踏まえ、JR陸羽東線の沿線自治体である本市としての利活用促進策を検討するにあたり、職員に対し通勤における公共交通機関の利用状況把握及び陸羽東線の利活用促進に対するアイデアを募集するために実施したものです。

### (2) 調査対象

令和4年9月5日時点で本庁舎及び総合支所庁舎等で勤務する部長職以下の正職員 950名

### (3) 調査方法

内部情報系Tod機能

### (4) 調査期間

令和4年9月5日（月）～9月15日（木）

### (5) 回答数等（調査対象数比）

開封数：781（82.2%）

回答数：675（71.0%）

#### ※報告書の表記

本報告書では、集計結果の数値を、特に断りのない限り、小数点第四位で四捨五入しています。そのため、各回答の合計が100%に一致しない場合があります。

## 2 質問項目

### Q. 1 【皆さんに質問です。】

あなたの現在の主な通勤手段を以下から 1 つ選んでください。複数の場合は、最も距離が長いものを回答してください。

- ・自家用車（送迎を含む）
- ・新幹線
- ・電車（列車を含む）
- ・バス（高速バス含む）
- ・徒歩または自転車
- ・その他（具体的な手段を記入してください）

### Q. 2 【Q. 1 で通勤手段を「自家用車」と回答した方に質問です。】

「自家用車（送迎含む）」以外で通勤する場合、現時点で考えられる主な通勤手段を以下から 1 つ選んでください。（複数の場合は、最も通勤距離が長いものを回答してください。）

- ・新幹線
- ・電車（東北本線のほか石巻線を含む）
- ・列車（陸羽東線）
- ・バス（高速バス含む）
- ・徒歩または自転車
- ・その他（具体的な手段を記入してください）

### Q. 3 【Q. 2 で自家用車以外の通勤手段を「列車」と回答した方に質問です。】

（1）ご自宅から最寄りの駅を教えてください。

〈自由記述欄〉

（2）現在、列車（陸羽東線）を利用することが難しい理由について、最も当てはまるものを以下から 1 つ選んでください。

- ・自宅から最寄り駅まで遠いから（例：自宅から最寄り駅まで徒歩 30 分以上の距離がある）
- ・勤務地近辺（例：最寄駅から徒歩 15 分以内）に駅が無いから
- ・自家用車による通勤よりも通勤時間が長くなるから
- ・天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから
- ・出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから（例：希望する時間から 1 時間以上差がある、出勤に間に合うような乗り換えが難しい）
- ・最寄り駅が無人駅で周辺も人気がなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから

- ・最寄り駅がICカード非対応のため不便に感じるから
- ・帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから
- ・身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから
- ・その他（上記以外の理由を記入してください）

Q. 4 【Q. 3（2）で「出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから」と答えた方に質問です】

出勤時間及び退勤時間の調整が可能であれば、利用を検討しますか。

- ・はい
- ・いいえ

Q. 5 【Q. 1で主な通勤手段を「新幹線」「電車」「バス」と回答した方に質問です】

公共交通機関を利用している理由について、以下から一つ選んで教えてください。

- ・自家用車による通勤より通勤代が安いから
- ・自家用車を所有していないから
- ・自動車運転免許等を取得していない（運転免許の自主返納を含む）から
- ・健康を意識しているから
- ・交通渋滞に関係なく通勤できるから
- ・勤務地近辺に駐車場を借りられなかったから
- ・その他（上記以外の理由を記入してください）

Q. 6 【皆さんにお伺いします】

JR陸羽東線の利活用促進に向けたアイデアを記入してください。実現可能性は考慮せず、自由な発想で記入してください。

（例）短期的（すぐに取り組めそうな取組み、短期間の取組み）

- ・芸能人に1日駅長をしてもらう
- ・観光客を呼びめるようなイベント列車を走らせる

中長期的（実施までの調査に時間を要するような取組み、継続性のある取組み）

- ・職員の通勤手段を、原則公共交通機関とする
- ・BRT（既存線路を活用したバスによる高速輸送システム）化する

また、通勤に陸羽東線を利用している方は、陸羽東線の通勤利用へのおすすめポイントをご記入ください。

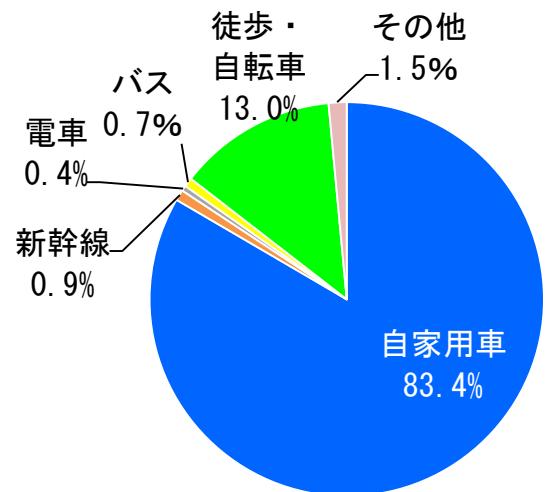
### 3 集計結果

Q. 1 【皆さんに質問です。】

あなたの現在の主な通勤手段を以下から 1 つ選んでください。複数の場合は、最も距離が長いものを回答してください。

[全体] N=675

項目	人数	割合 (%)
自家用車	563	83.4%
新幹線	6	0.9%
電車(列車を含む)	3	0.4%
バス(高速バスを含む)	5	0.7%
徒歩または自転車	88	13.0%
その他※	10	1.5%



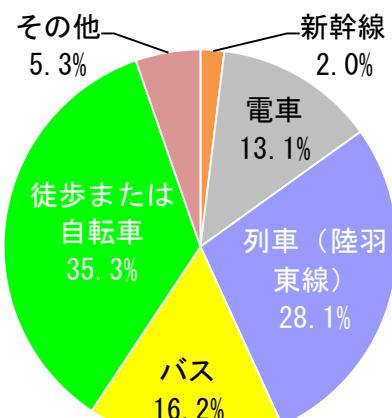
※未回答

Q. 2 【Q. 1 で通勤手段を「自家用車」と回答した方に質問です。】

「自家用車(送迎含む)」以外で通勤する場合、現時点で考えられる主な通勤手段を以下から 1 つ選んでください。(複数の場合は、最も通勤距離が長いものを回答してください。)

[全体] N=563

項目	人数	割合 (%)
新幹線	11	2.0%
電車(東北本線のほか 石巻線を含む)	74	13.1%
列車(陸羽東線)	158	28.1%
バス(高速バス含む)	91	16.2%
徒歩または自転車	199	35.3%
その他※	30	5.3%

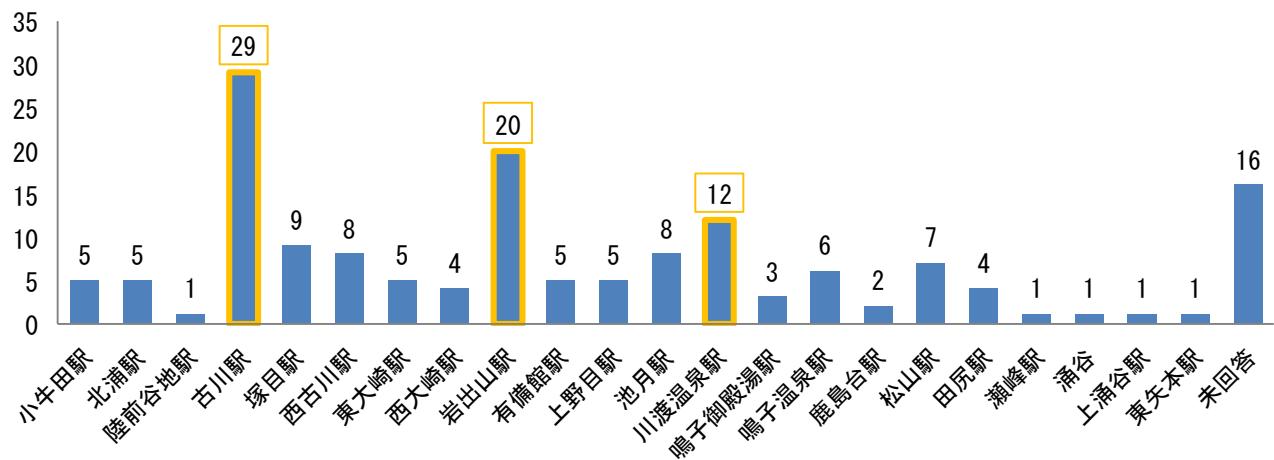


※バイク、自家用車以外難しいなど

Q. 3 【Q. 2で自家用車以外の通勤手段を「列車」と回答した方に質問です。】

(1) ご自宅から最寄りの駅を教えてください。(自由記述 \*1)

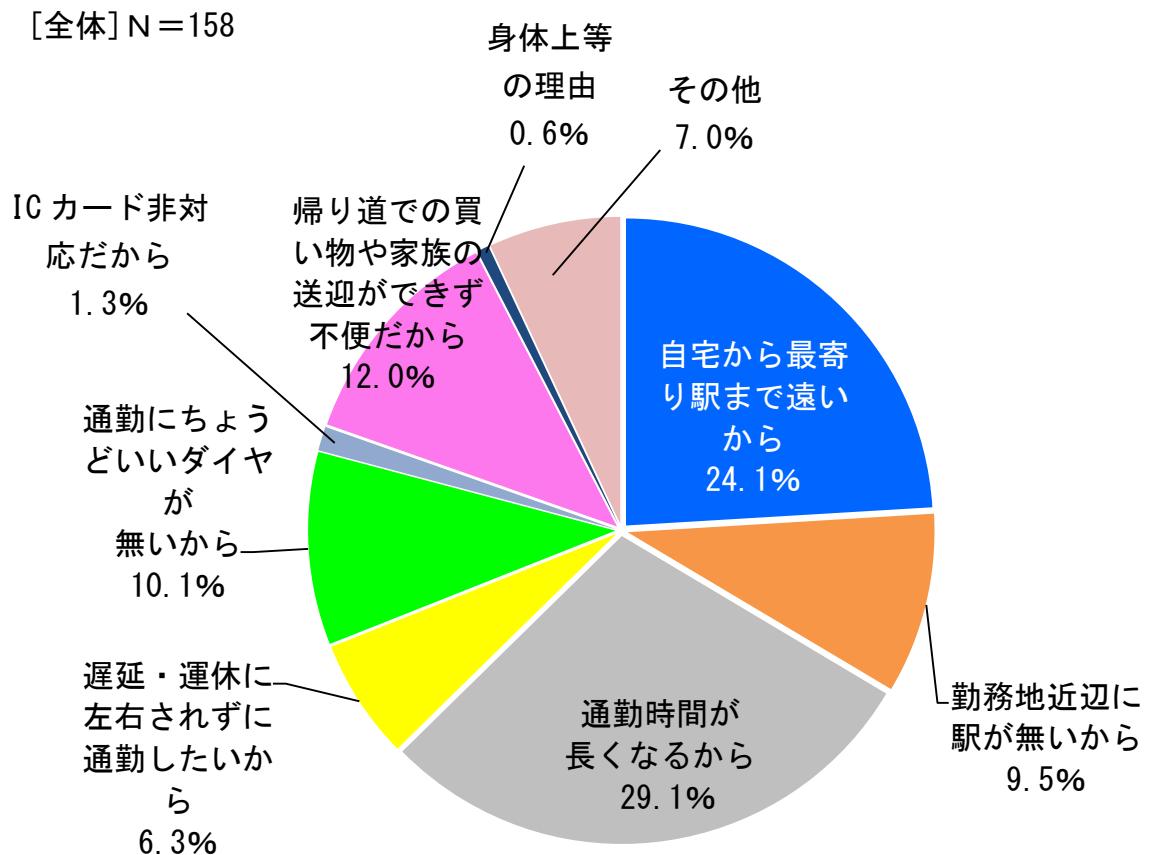
[全体] N = 158



\*1 古川駅または塚目駅、のように複数の駅の回答は、古川駅に近い駅を計上しています。

(2) 現在、列車（陸羽東線）を利用することができない理由について、最も当てはまるものを以下から1つ選んでください。

[全体] N = 158



選択項目	人数	割合(%)	
自宅から最寄り駅まで遠いから(例:自宅から最寄り駅まで徒歩30分以上の距離がある)	38	24.1%	■
勤務地近辺(例:最寄駅から徒歩15分以内)に駅が無いから	15	9.5%	■
自家用車による通勤よりも通勤時間が長くなるから	46	29.1%	■
天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから	10	6.3%	■
出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから(例:希望する時間から1時間以上差がある、出勤に間に合うような乗り換えが難しい)	16	10.1%	■
最寄り駅が無人駅で周辺も人気もなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから	0	0.0%	■
最寄り駅がICカード非対応のため不便に感じるから	2	1.3%	■
帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから	19	12.0%	■
身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから	1	0.6%	■
その他※	11	7.0%	■

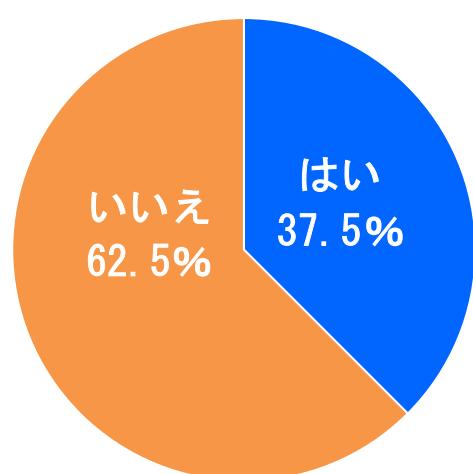
※通勤途中で体調が悪くなったときに融通が利かない、選択肢の理由のほかに座れるか確実でないこと、隣に座る人がどんな人か不安に感じる など

Q. 4 【Q. 3 (2) で「出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから」と答えた方に質問です】

出勤時間及び退勤時間の調整が可能であれば、利用を検討しますか。

[全体] N=16

選択項目	人数	割合 (%)	
はい	6	37.5%	■
いいえ	10	62.5%	■



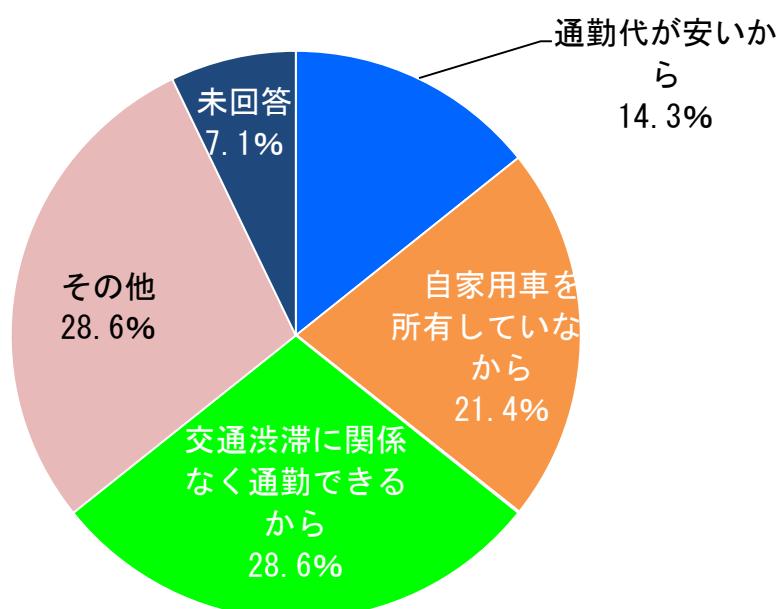
Q. 5 【Q. 1で主な通勤手段を「新幹線」「電車」「バス」と回答した方に質問です】

公共交通機関を利用している理由について、以下から一つ選んで教えてください。

[全体] N=14

選択項目	人数	割合(%)
自家用車による通勤より通勤代が安いから	2	14.3%
自家用車を所有していないから	3	21.4%
自動車運転免許等を取得していない(運転免許の自己返納を含む)から	0	0.0%
健康を意識しているから	0	0.0%
交通渋滞に関係なく通勤できるから	4	28.6%
勤務地近辺に駐車場を借りられなかったから	0	0.0%
その他※	4	28.6%
未回答	1	7.1%

※通勤時間を余暇の時間に充てている、自家用車より通勤時間が短いなど



**Q. 6 【皆さんにお伺いします】**

JR 陸羽東線の利活用促進に向けたアイデアを記入してください。

実現可能性は考慮せず、自由な発想で記入してください。（自由記述）

**【短期的】**

- 鳴子温泉地域（吹上キャンプ場など）で大規模なイベントを開催する（大型コンサート等のイベント参加者は公共交通機関が多い印象がある）。
- 鳴子温泉地域・岩出山地域で開催される、こけし祭りや政宗公祭りの来場に陸羽東線の利用を促す。
- ビアガーデンのような、車を利用しては来られないイベントを沿線地域で開催する。
- 歩数チャレンジなどの健康をテーマにした取組みとコラボしたイベントを企画する。
- 温泉地や各駅でスタンプラリーを開催して、スタンプを集めると景品がもらえるようにする。
- あえて自虐的な宣伝をする。
- ユーチューバーに宣伝してもらう。
- 各駅の待合室をきれいにする。
- （陸羽東線を使って）旅番組に来てもらう。
- 子供や鉄道ファン向けの取組みとして、1日車掌（職業）体験を実施する。
- 陸羽東線に「陸羽当選」というイメージを持たせ、「乗ると宝くじ等の御利益があるかもしれない」列車として宣伝する。
- 各駅にシェアサイクルやレンタルサイクルを整備する。
- 車窓からの見どころスポットや観光マップを作成する。
- フォトスポットをつくる。

## 【中長期的】

- BRT 化して、停車場の増加、観光ルートの周遊、運行本数の増加をして利便性を向上させる。ただし降雪地帯の問題のクリアを要する。電気または水素自動車化すると環境にも配慮できる。
- 上下分離方式を導入する。
- DMV を導入する（※1）。
- 物資列車を運行する（昭和 40 年代前半まで運行していた記憶がある。現代で実施するなら、特産物列車の運行か）
- 貨客混載を実施する。
- ラッピング車両（例：アニメ、ドラマ、こけし、伊達政宗、広告、国鉄時代のカラーリングなど）を運行する。運行に合わせて、コラボ切符も販売する。
- イベント列車（例：こたつ列車、トロッコ列車、スイーツ列車、足湯列車、地酒列車など）や SL などを運行する。
- 会議やパーティー、個展の開催に列車を貸し出す。
- 週末限定でペットと乗車可能にする。
- 「ダムカード」（※2）のような「駅カード」を作る。
- パタ崎さんのカプセルトイを各駅に設置する。
- 陸羽東線沿線に大学などの教育機関や企業を誘致する。
- 観光用に古川（仙台）～鳴子温泉間ノンストップ列車を運行する。
- サイクリングの人用に、たたまづにそのまま自転車を車内に持ち込めるようにする（※3）。
- 特色ある乗車券（宿泊券や金券付、鳴子温泉や道の駅で特典が受けられるもの）や 1 日フリーパスを販売する。
- 市職員の通勤を、原則公共交通機関とする。実施するにあたっては対象を絞り（例：自宅から駅まで徒歩〇分以内、新規採用職員など）、自宅から駅、または駅から通勤場所までの交通手段の確保・支援を行う。交通手段の確保は、駅から通勤場所まで小型バスを運行するなど。
- フレックスタイム制を導入して公共交通機関を通勤に利用しやすくする。
- 公共交通機関を利用する従業員の割合が全体の 50% を超える企業の法人税を減額する。
- 土日祝日を観光客向けの運行ダイヤにするなど、平日と土日で運行ダイヤを変える。
- 校外学習や生涯学習事業等で小学生に利用してもらう。
- 大崎市運転免許自主返納支援事業の対象を拡大して、電車・列車の運賃にも使えるようにする。
- 自宅から最寄り駅までのタクシー券を交付する。
- ふるさと納税の返礼品に陸羽東線に関連したものを設定する（例：イベント列車の乗車券など）。
- バス（鳴子線）を廃止する。

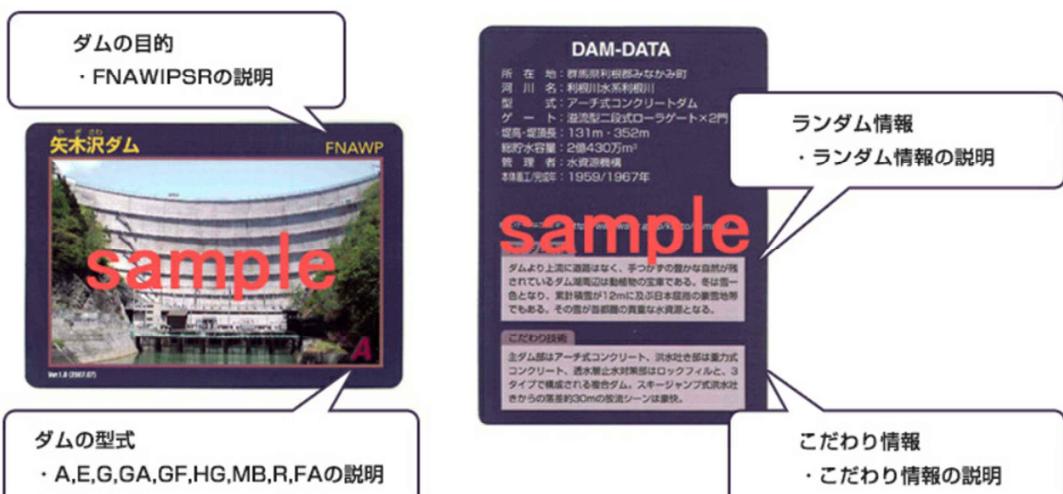
- 東北本線、新幹線との乗り継ぎを改善する。
- パタPAYで乗れるようにする。
- 陸羽東線を舞台にしたドラマや映画を作成する。
- 駅前の飲食店を増やしたり、鳴子温泉郷を活性化するなど、駅周辺地域を盛り上げる。
- 沿線環境を整備する（桜並木の整備、樹木の剪定、草刈り、田んぼアートなど）。
- 道の駅の最寄り駅である「池月駅」の環境を整備する。
- 悪天候時に自動車の代替手段となるように、沿線に防風防雪柵を設置する。

※1 DMV（デュアル・モード・ビークル）について

DMVとは、線路と道路の両方を走る車両。阿佐海岸鉄道（本社：徳島県）で運用されており、世界初の事例となっている。

※2 「ダムカード」

国土交通省独立行政法人水資源機構が管理するダムにおいて、訪問客に対し配布されるカード。表面がダムの写真、裏面がダムの詳細情報を掲載している。



ダムカード見本：国土交通省 HP より引用

※3 自転車の持ち込みについて

現在、JR 東日本では、持ち込める荷物はタテ・ヨコ・高さの合計が 250 cm（長さは 2 mまで）以内、重さ 30 kg 以内のものを 2 個までとしており、サイクリングやスポーツ大会などに使用する自転車は、解体し専用の袋に収納したもの、または折り畳み自転車においては折りたたんで専用の袋に収納したものとしており、乗る形のままの持ち込みは不可とされている。

## 4 集計結果に関する概要

### ●通勤手段について

- ・職員のうち、計8割程度が自家用車を通勤手段に使っており、公共交通機関（新幹線、電車または列車、バス等）を使う人は計1割にも届かない状況です。
- ・現在、通勤手段に「自家用車」を使用している人のうち、自家用車以外で通う場合に、公共交通機関を代替手段に考える人は計6割程度、そのうち列車（陸羽東線）を代替手段とする人は計5割程度（全体でみると計3割程度）という結果でした。また、代替手段に「徒歩・自転車」と考える人は約4割程度存在し、勤務地近辺に居住している人の多くが自家用車によって通勤していることが伺えます。
- ・列車を代替手段とする人の最寄り駅は古川駅、岩出山駅、川渡温泉駅が多いですが、古川駅から鳴子温泉駅までのすべての駅が最寄り駅と回答されている状況です。

### ●公共交通機関を通勤手段に使用することについて

- ・通勤の代替手段に陸羽東線を考える人のうち、現在通勤手段として利用が難しい理由に、計3割程度の人が自家用車よりも通勤時間が長くなること、次いで、2割強の人が自宅から最寄り駅まで遠いことを挙げており、利便性のほか、駅までのアクセスが陸羽東線利用の壁となっている状況です。
- ・出勤または退勤時間にちょうどいいダイヤが無いことから、陸羽東線を通勤手段として使うことに抵抗を感じる人は計1割程度おり、そのうち勤務時間の調整が可能であれば利用を検討する人は計4割程度の状況です。
- ・公共交通機関を通勤手段に使用している人は、交通渋滞に關係なく通勤できることや、通勤代の節約などの理由のほかに、通勤時間を余暇に充てている人もいます。

### ●JR 陸羽東線の利活用促進に向けたアイデアについて

#### 【短期的】

- ・待合室の清掃や、沿線の樹木、雑草の手入れなど、駅・沿線の環境整備が不十分であるとの意見も寄せられました。
- ・陸羽東線の宣伝アイデアには、旅番組の企画やユーチューバーの起用のほか、「当選」とかけて「陸羽当選」とし、「乗ると御利益があるかもしれない」というような宣伝をする、などの意見が寄せられました。

## 【中長期的】

- ・BRT 化して停車場（駅）を増やすことで、観光ルートを周遊できるようにしたり、運行本数を増加させたりするなどして利便性を向上させるとの意見が一定数挙げられました。懸念事項として、冬場の降雪地帯の走行が挙げされました。
  - ・年間パスポートや、1日フリー乗車券など、定額制乗車券販売のアイデアが多く挙げられました。
  - ・職員の通勤手段を原則公共交通機関とすることについては、対象職員を駅から徒歩〇分以内の者や新規採用職員など限定して実施する案も挙げられました。
- また、JR を利用する場合の支援について、各駅から勤務地までの交通手段の整備や、駅から自宅（勤務地）間など JR 利用以外にかかる費用の補助、駅周辺駐車場の整備などが挙げられたほか、駅から自宅（勤務地）への交通手段（二次交通）が課題であることが伺えます。災害時の出勤方法も検討課題です。
- ・ラッピング列車の運行や、特色のある乗車券（温泉入浴券とセットになった乗車券等）の販売、沿線地域でイベントの開催など、観光と関連したアイデアが多く挙げられました。沿線地域でイベントを実施する場合、陸羽東線で来場すると特典があるイベントと、ビアガーデンのように自家用車以外の交通手段（公共交通機関の利用）による来場を促すものの 2 種類が挙げられました。
  - ・大崎市運転免許自主返納支援事業の対象を拡大して、市民バスのほかに電車の運賃も対象とすることや、イベント列車の乗車券をふるさと納税の返礼品とするなど、制度の拡充によって利活用促進を図ることの可能性が伺えます。
  - ・新幹線や他の路線との乗り換え時間の短縮や、仙台（古川）から鳴子温泉駅までノンストップで走行する列車の運行など、利便性の向上に向けた意見が多く挙げられました。

## ●現状と課題

- ・陸羽東線の乗車時間が長いことや、仙台から鳴子温泉まで利用する場合に乗り換えが必要であり、かつ乗り換えるための待ち時間が長いことなどの解消を求めるアイデアが一定数あることから、利便性の確保が求められています。
- ・陸羽東線自体の利便性向上だけでなく、駅から目的地までの交通手段（二次交通）の確保も課題となっています。
- ・利用するきっかけとなるようなイベントを開催する案が一定数挙げられたことや、沿線地域の活性化についても触れる意見があったことから、観光及びまちづくりの観点からも利用推進策の検討が必要です。

## ●今後の取組み

- ・職員を対象として、定期的に陸羽東線等の公共交通機関の利用を促す「チャレンジデー」を設けるなどし、利用の増加を図ると共に、実際に利用してみての感想を収集し、利便性向上に向けた方策を探ります。
- ・市ウェブサイトや広報誌を活用し、広く市民等から提案を募り、利活用推進の参考とします。

## (12) 公共交通通勤データに係る利用状況調査結果

### ■調査概要

#### 1 調査目的

公共交通通勤データにおける公共交通機関の利用状況から、公共交通機関の通勤利用に関する利点および課題について把握するため、市職員を対象に調査したもの。

※公共交通通勤データ実施日

- ①令和5年1月11日（水）
- ②令和5年2月8日（水）

公共交通通勤データは、通勤利用にかかる利活用促進の可能性を調査するため、本市職員による公共交通通勤を試験的に実践し、通勤利用に関するメリット・デメリットを洗い出し、陸羽東線の利用促進に向けた施策立案につなげることを目的とし、実施したものの。通勤手段の変更に伴う交通費は支給しないものの、職員の積極的な参加について協力を依頼。実施日での参加が難しい場合は、別日での協力を求めた。

#### 2 対象

市民病院等を除くすべての職員（R4.8.1時点）とし、そのうち、

- ・施設等勤務職員（幼稚園、保育所、学校など）
- ・勤務時間が変則的な職員（看護師など）
- ・再任用職員
- ・会計年度任用職員

を除く正職員745名とした。また、休暇等により、調査対象日（期間）に出勤していない職員は回答対象から除くこととした。

#### 3 調査対象日

- ①令和5年1月11日（水）または通勤データを除く令和5年1月10日～13日の間の利用の有無
- ②令和5年2月8日（水）または通勤データを除く令和5年2月6日～10日の間の利用の有無

調査対象期間のうち、公共交通通勤データ以外の日程で複数日利用した場合は、いずれか1日分の利用状況を回答することを求めた。

#### **4 調査回答期間**

- ①令和5年1月11日～令和5年1月18日
- ②令和5年2月8日～令和5年2月15日

#### **5 調査方法**

府内メッセージにより各課へ調査票を送付し、公共交通通勤デーに出勤した職員または別日に協力した職員の公共交通機関の利用状況について回答を依頼。部長級職員については各部総務担当課にとりまとめを依頼した。

#### **6 本報告書内の用語**

- ・「1/11」…令和5年1月11日または通勤デーを除く令和5年1月10日～13日の間
- ・「2/8」…令和5年2月8日または通勤デーを除く令和5年2月6日～10日の間
- ・「古川」…大崎市役所本庁舎、西庁舎、東庁舎、市民ギャラリー、市民会館、地域交流センター、夜間急患センター、大崎合同庁舎（農業委員会）
- ・「松山」…松山総合支所、松山公民館
- ・「三本木」…三本木総合支所、三本木公民館
- ・「鹿島台」…鹿島台総合支所、鹿島台公民館
- ・「岩出山」…岩出山総合支所、岩出山文化会館
- ・「鳴子温泉」…鳴子総合支所、鳴子公民館
- ・「田尻」…田尻総合支所、沼部公民館

※集計結果の割合は、特に断りのない限り小数点第二位で四捨五入している。そのため、各回答の合計が100%に一致しない場合がある。

## ■ 調査項目

### ○職員番号（記入）

### ○公共交通通勤データにおける公共交通機関の利用の有無（選択）

- ・「利用しなかった」・「利用した」　利用した場合は、往路復路での利用の有無を回答。

### ○利用した場合の利用手段（選択）及び利用駅・停留所（記入）

- ・利用手段は3つまで回答（例：陸羽東線から東北本線に乗り継いだ場合、利用手段は2つ）。片道のみの利用となった場合は、その理由を記入する。

### ○定期的な利用の可否（選択）

- ・「往復利用可能」　・「片道のみなら利用可能」　・「定期的な利用は難しい」

「片道のみなら利用可能」、「定期的な利用は難しい」の場合、その理由を回答。

#### 【理由】（選択）

- ・「自宅から最寄り駅まで遠いから」
- ・勤務地近辺に駅・停留所が無いから
- ・自家用車・徒歩・自転車による通勤よりも通勤時間が長くなるから
- ・天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから
- ・出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから
- ・最寄り駅・停留所の周辺は人気がなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから
- ・最寄り駅・市民バスがICカード非対応のため不便に感じるから
- ・帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから
- ・身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから
- ・その他

### ○利用してみての感想・意見（記入）

- ・公共交通機関を通勤に利用してみて感じた課題点や感想等を記入する。

### ○利用しなかった理由を回答（選択）

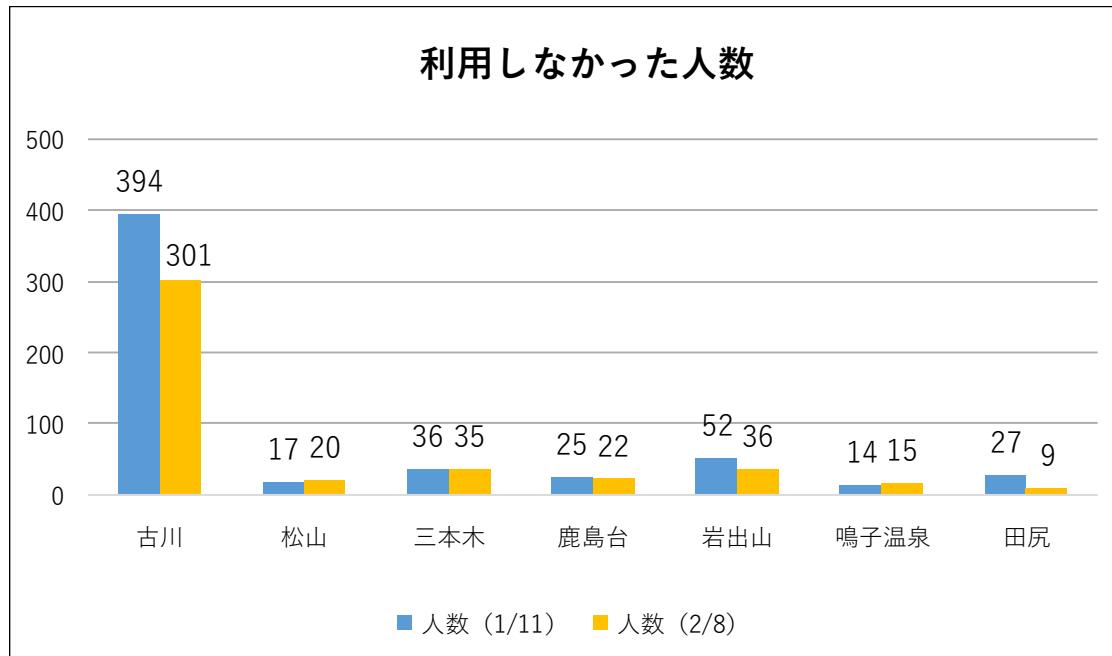
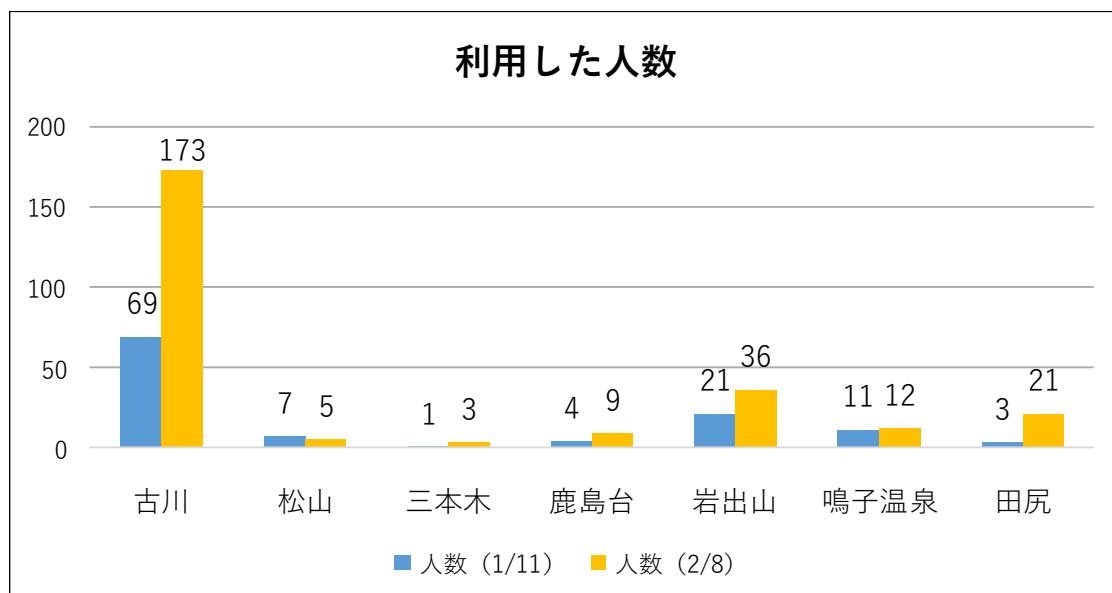
#### 【理由】

- ・「自宅から最寄り駅まで遠いから」
- ・勤務地近辺に駅・停留所が無いから
- ・自家用車・徒歩・自転車による通勤よりも通勤時間が長くなるから
- ・天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから
- ・出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから
- ・最寄り駅・停留所の周辺は人気がなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから
- ・最寄り駅・市民バスがICカード非対応のため不便に感じるから
- ・帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから
- ・身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから
- ・会議・研修等により通常の通勤経路と異なったから
- ・その他

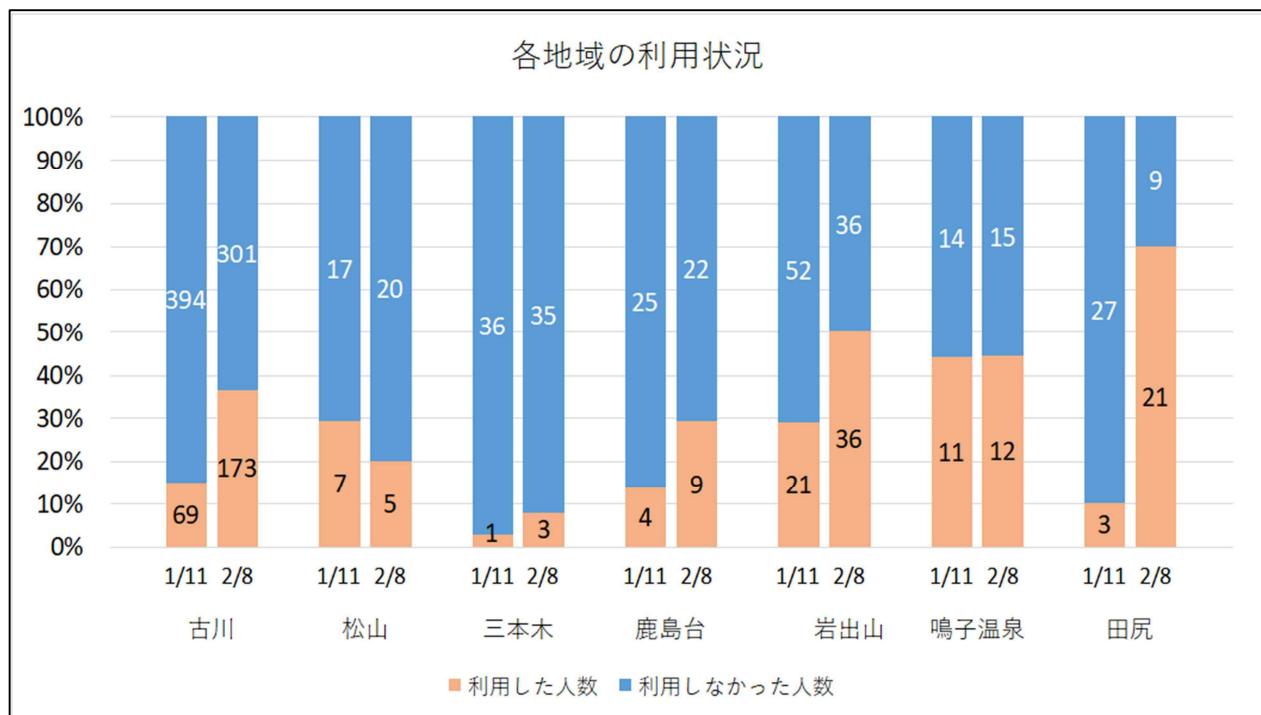
## ■ 調査結果（全地域）

### 1 (1) 利用状況について(1/11 : N=681 2/8 : N=697)

	対象者数	休暇等 取得者数	回答数	利用 しなかった	利用した	利用割合 (回答数比)
1/11	745人	64人	681人	565人	116人	17.0%
2/8	745人	48人	697人	438人	259人	34.8%

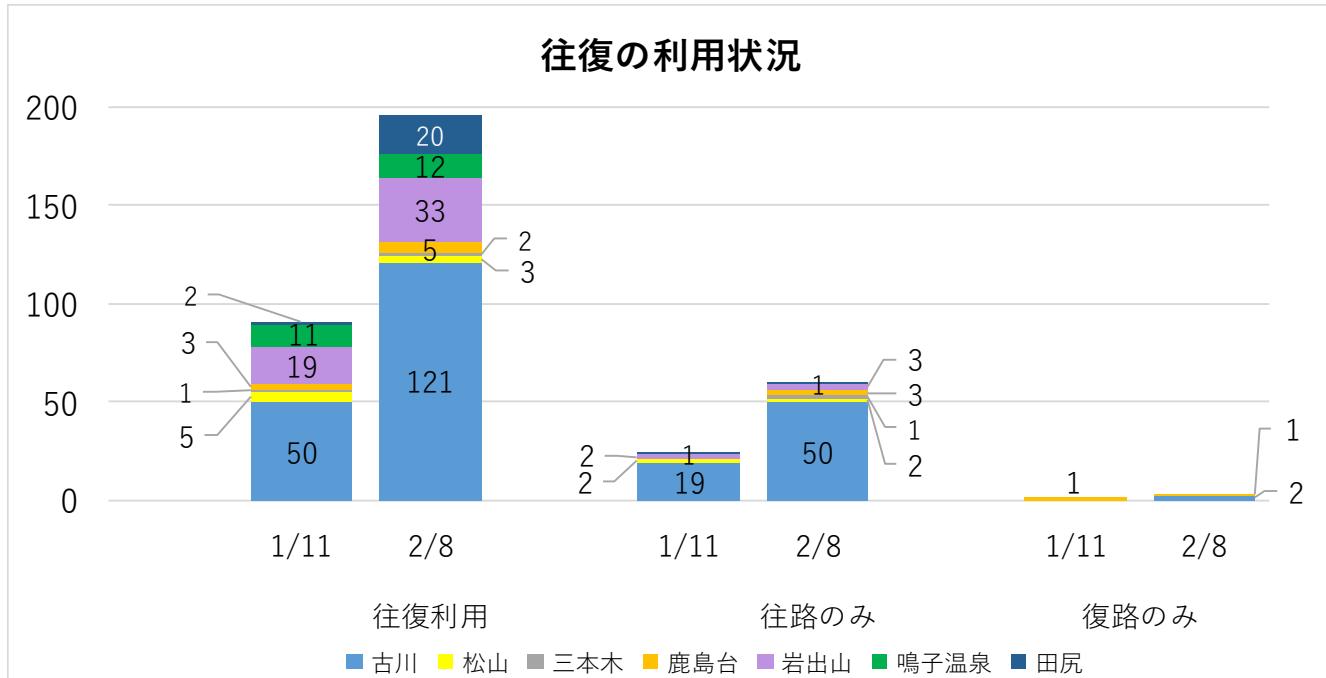


## 各地域の利用の有無と割合について



地域	日程	回答数	利用者数	割合	非利用者数	割合
古川	1/11	463	69	14.9%	394	85.1%
	2/8	474	173	36.5%	301	63.5%
松山	1/11	24	7	29.2%	17	70.8%
	2/8	25	5	20.0%	20	80.0%
三本木	1/11	37	1	2.7%	36	97.3%
	2/8	38	3	7.9%	35	92.1%
鹿島台	1/11	29	4	13.8%	25	86.2%
	2/8	31	9	29.0%	22	71.0%
岩出山	1/11	73	21	28.8%	52	71.2%
	2/8	72	36	50.0%	36	50.0%
鳴子温泉	1/11	25	11	44.0%	14	56.0%
	2/8	27	12	44.4%	15	55.6%
田尻	1/11	30	3	10.0%	27	90.0%
	2/8	30	21	70.0%	9	30.0%

1 (2) 【利用した場合】往復の利用状況(1/11 : N = 116 2/8 : N = 259)



	往復		往路のみ		復路のみ	
	1/11	2/8	1/11	2/8	1/11	2/8
古川	50	121	19	50	0	2
松山	5	3	2	2	0	0
三本木	1	2	0	1	0	0
鹿島台	3	5	0	3	1	1
岩出山	19	33	2	3	0	0
鳴子温泉	11	12	0	0	0	0
田尻	2	20	1	1	0	0

1 (3) 乗り継ぎの有無について

	乗り継ぎなし		乗り継ぎ最大1回		乗り継ぎ最大2回	
	1/11	2/8	1/11	2/8	1/11	2/8
古川	47	128	18	35	4	10
松山	4	3	2	2	1	0
三本木	0	1	0	2	1	0
鹿島台	1	7	3	2	0	0
岩出山	19	35	2	1	0	0
鳴子温泉	10	11	1	1	0	0
田尻	0	13	3	8	0	0

2 (1) 利用された公共交通機関の状況について (1/11)

利用手段	利用回数												合計回数	利用割合		
	古川		松山		三本木		鹿島台		岩出山		鳴子温泉		田尻			
	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復		
バス(古川線)	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2.5%
バス(色麻線)	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1.8%
市民バス(鳴子線)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.5%
市民バス(松山鹿島台線)	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1.8%
市民バス(三本木大衡線)	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.2%
市民バス(宮沢真山線)	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4.7%
市民バス(高倉線)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1.1%
市民バス(大貫線)	12	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	6.2%
市民バス(中心市街地循環便)	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2.9%
高速バス	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2.2%
バス(その他)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7%
陸羽東線	30	26	0	0	1	1	2	3	21	19	11	11	2	2	129	46.9%
東北本線	8	8	5	5	1	1	3	4	2	2	1	1	3	2	46	16.7%
石巻線	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	2.2%
東北新幹線	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3.6%
仙石線	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1.5%
仙山線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
地下鉄	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7%
電車(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
タクシー	0	0	2*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.7%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

※地域内公共交通の利用を含む

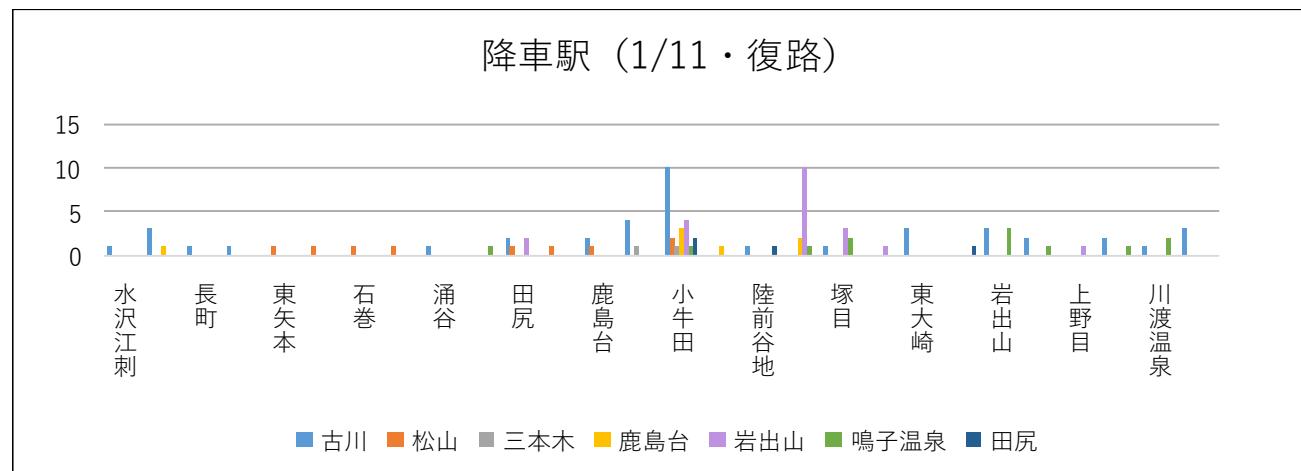
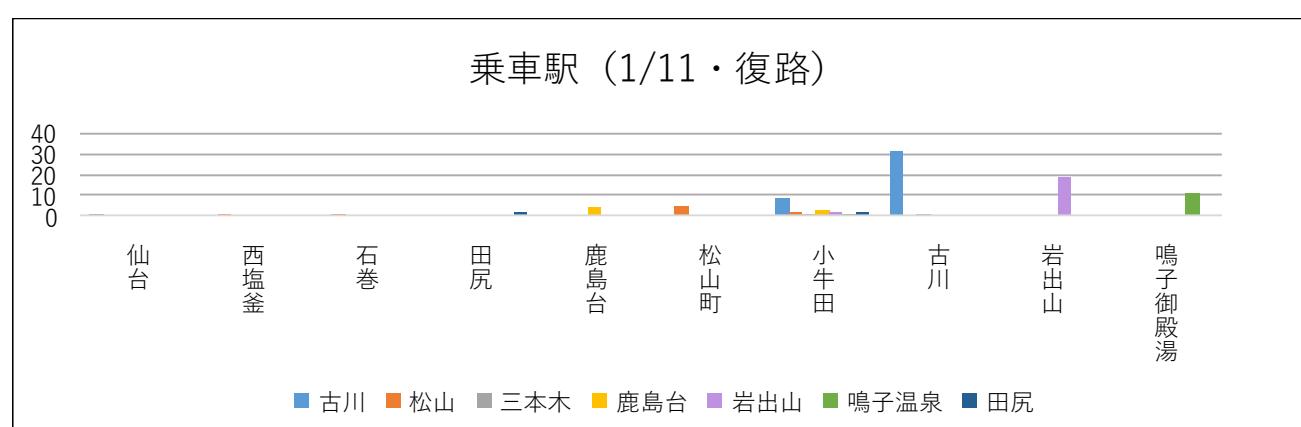
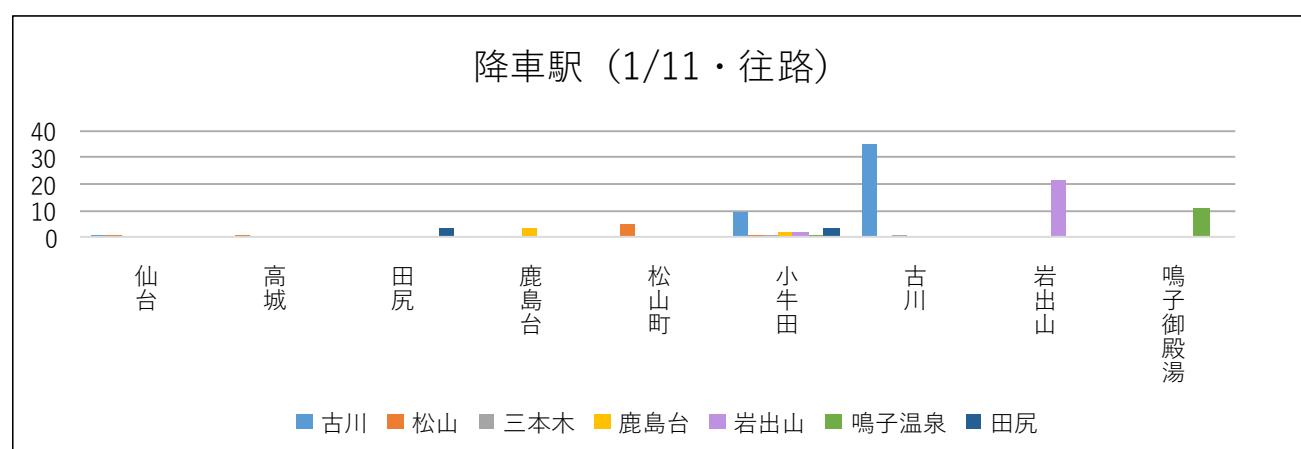
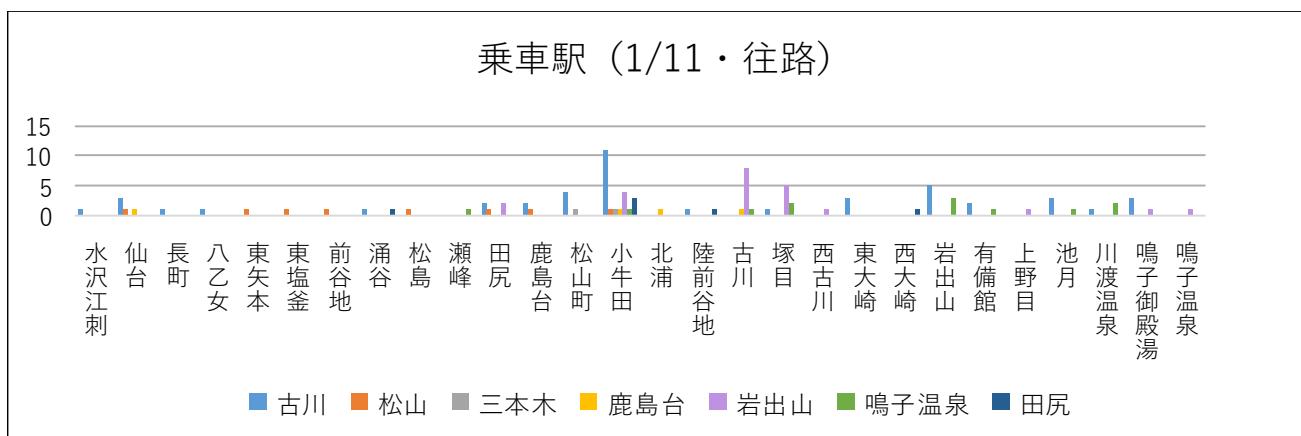
2 (1) 利用された公共交通機関の状況について (2/8)

利用手段	利用回数												合計回数	利用割合		
	古川		松山		三本木		鹿島台		岩出山		鳴子温泉		田尻			
	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復	往	復		
バス(古川線)	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	3.2%
バス(色麻線)	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1.6%
市民バス(鳴子線)	7	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	2.1%
市民バス(松山鹿島台線)	9	9	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	24	3.5%
市民バス(三本木大衡線)	12	8	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	24	3.6%
市民バス(宮沢真山線)	18	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	4.1%
市民バス(高倉線)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1.1%
市民バス(大貫線)	29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	13	58	9.1%
市民バス(中心市街地循環便)	31	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	6.1%
バス(その他)	2	1	0	0	0	0	2*	0	0	0	0	0	0	0	5	2.3%
高速バス	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1.0%
陸羽東線	60	55	1	1	2	0	6	5	36	33	12	12	5	5	233	43.2%
東北本線	19	16	1	2	0	0	0	0	1	1	1	1	7	7	56	13.6%
石巻線	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	8	1.7%
東北新幹線	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	2.4%
仙石線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5%
仙山線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
地下鉄	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.5%
電車(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
タクシー	0	1	2*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.6%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

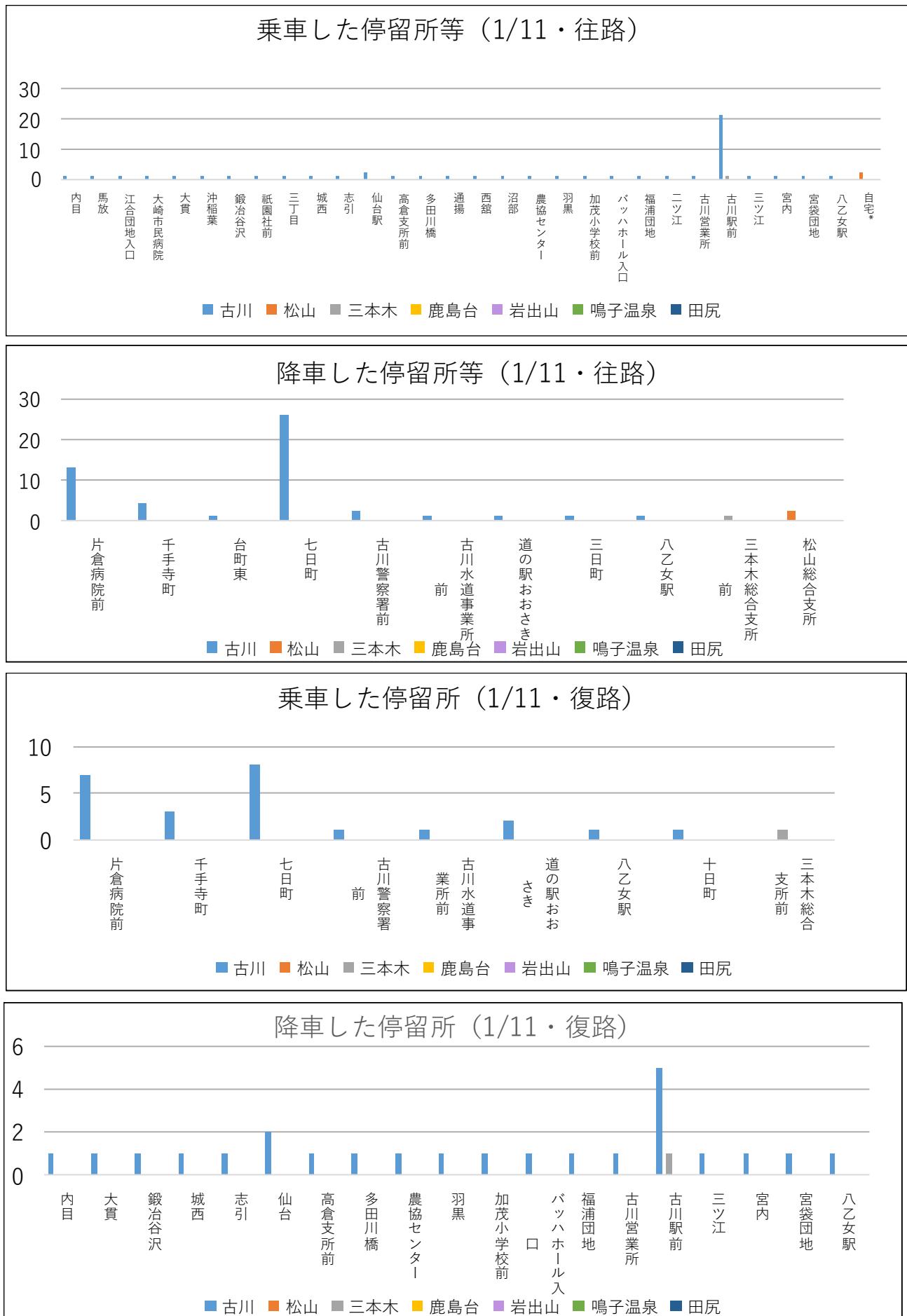
※地域内公共交通を含む

## 2 (2) 利用された駅・停留所について

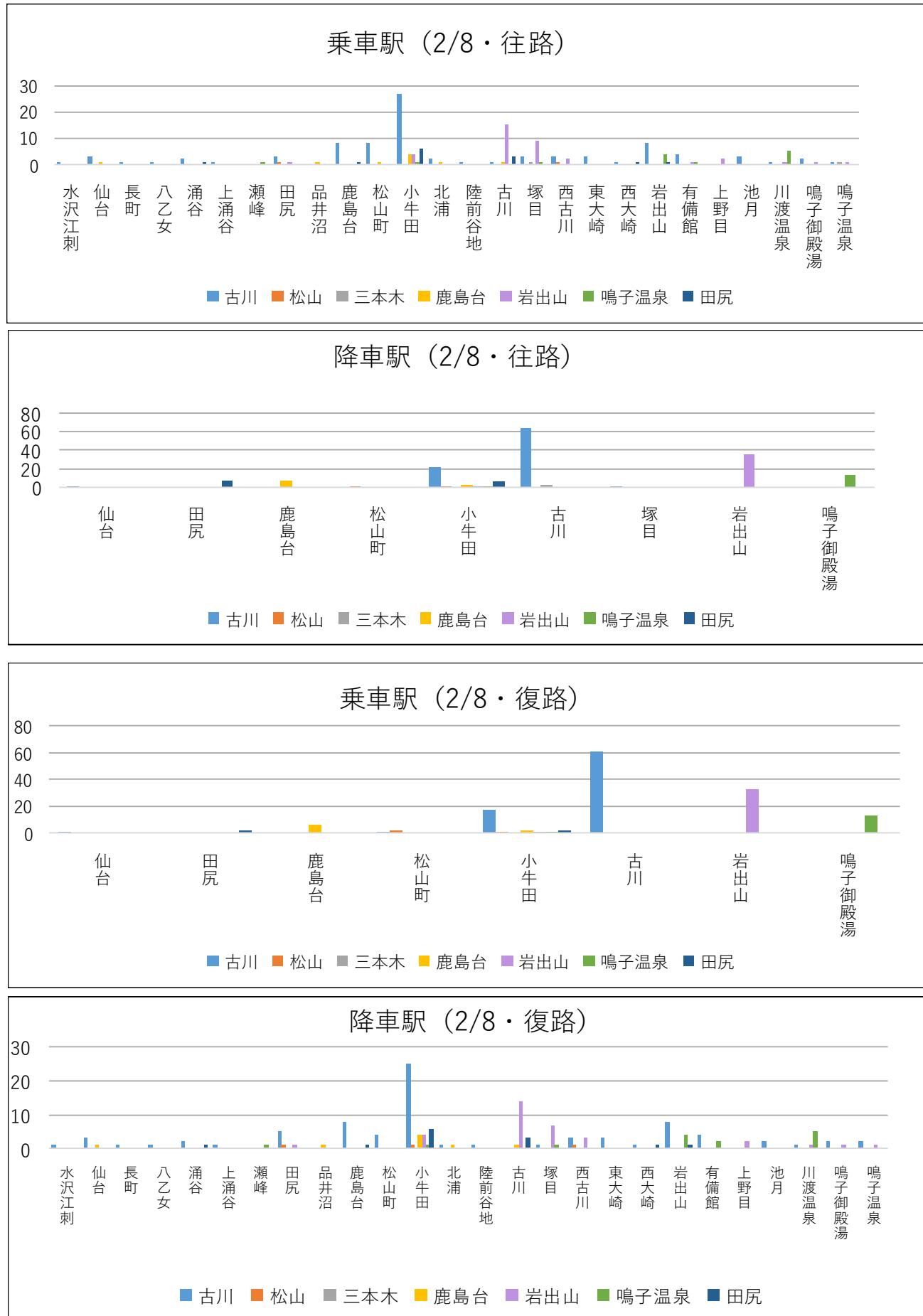
### ① 【鉄道】1/11 の状況



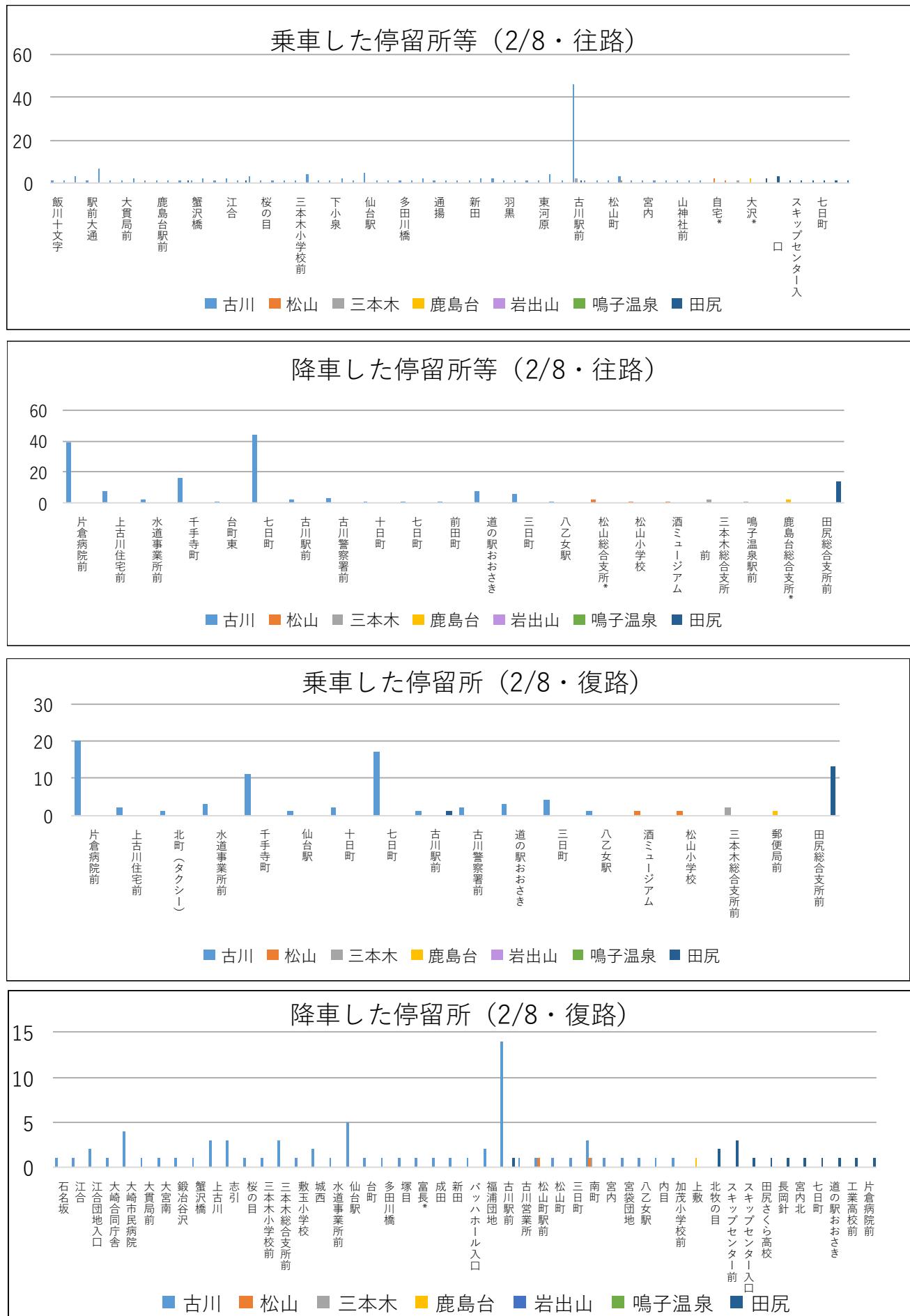
## ② 【バス・タクシー・地域内公共交通】1/11 の状況



### ③ 【鉄道】2/8 の状況



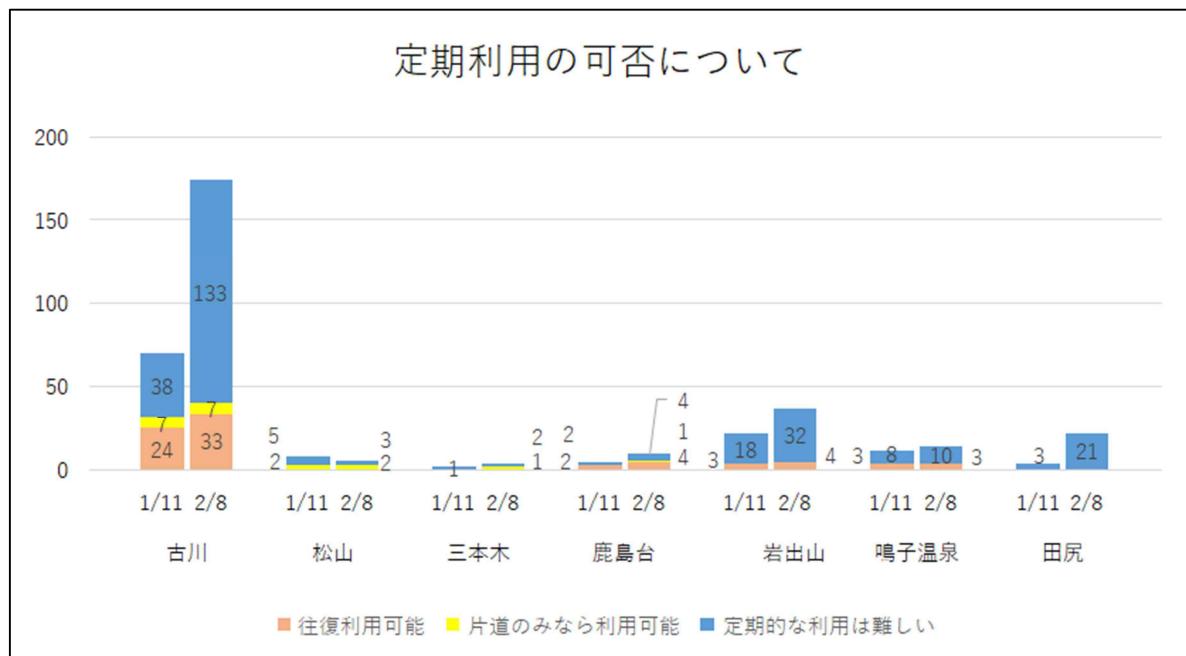
#### ④【バス・タクシー・地域内公共交通】1/11 の状況



## 2 (2) 今後の定期的な利用の可否について (1/11 : N=116 2/8 : N=259)

・回答割合は各地域の利用者計比

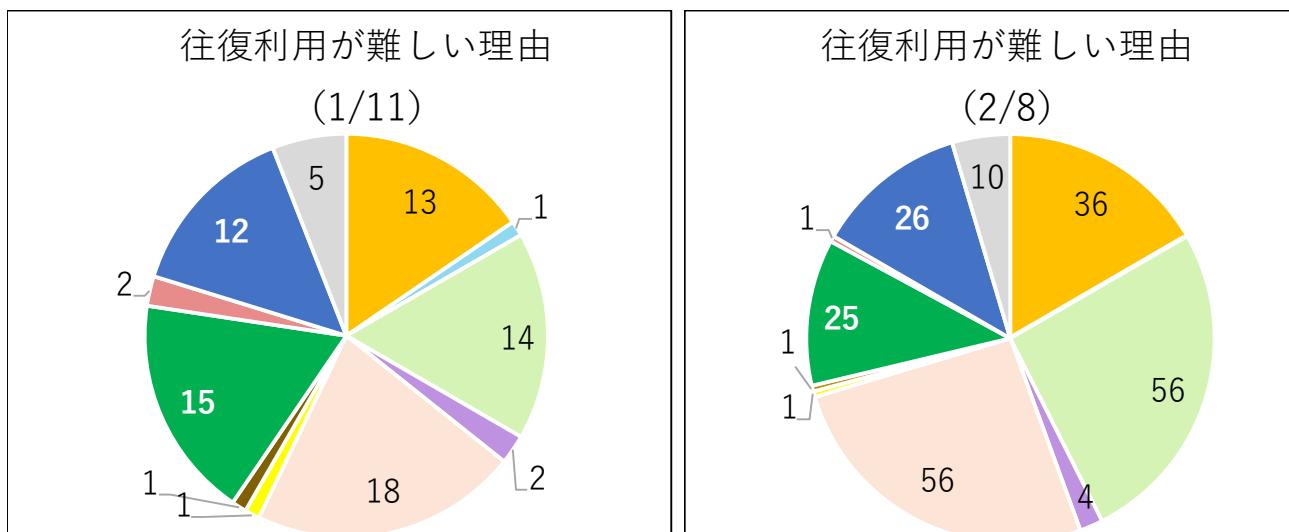
		往復利用可能		片道のみなら利用可能		定期的な利用は難しい	
地域	調査日						
	古川	1/11	24	34.8%	7	10.1%	38
松山	2/8	33	19.1%	7	4.0%	133	76.9%
	1/11	0	0.0%	2	28.6%	5	71.4%
三本木	2/8	0	0.0%	2	40.0%	3	60.0%
	1/11	0	0.0%	0	0.0%	1	100%
鹿島台	2/8	0	0.0%	1	33.3%	2	66.7%
	1/11	2	50.0%	0	0.0%	2	50.0%
岩出山	2/8	4	44.4%	1	11.1%	4	44.4%
	1/11	3	14.3%	0	0.0%	18	85.7%
鳴子	2/8	4	11.1%	0	0.0%	32	88.9%
	1/11	3	27.3%	0	0.0%	8	72.7%
田尻	2/8	2	16.7%	0	0.0%	10	83.3%
	1/11	0	0.0%	0	0.0%	3	100%
	2/8	0	0.0%	0	0.0%	21	100%



2(3) 往復利用が難しい（片道のみなら利用可能・定期的な利用は難しい）理由について  
 (1/11:N=84 2/8:N=216)

No	選択項目	1/11		2/8		
		回答数	割合	回答数	割合	
①	自宅から最寄り駅まで遠いから	13	15.5%	36	16.7%	
②	勤務地近辺に駅・停留所が無いから	1	1.2%	0	0.0%	
③	自家用車・徒歩・自転車による通勤よりも通勤時間が長くなるから	14	16.7%	56	25.9%	
④	天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから	2	2.4%	4	1.9%	
⑤	出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤが無いから	18	21.4%	56	25.9%	
⑥	最寄り駅・停留所の周辺は人気がなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから	1	1.2%	1	0.5%	
⑦	最寄り駅・市民バスがICカード非対応のため不便に感じるから	1	1.2%	1	0.5%	
⑧	帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから	15	17.9%	25	11.6%	
⑨	身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから	2	2.4%	1	0.5%	
⑩	その他※	12	14.3%	26	12.0%	
⑪	未回答	5	6.0%	10	4.6%	

※その他…業務により帰りの時間が一定でないから、家族等の緊急事態が発生した時に不安があるから、通勤費が3倍以上かかるから 等



## 地域別回答数

No	1/11 回答数								2/8 回答数								
	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子温泉	田尻	割合	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子温泉	田尻	割合	
①	6	0	0	1	4	1	1	15.5%	22	0	0	2	10	1	1	16.7%	
②	0	1	0	0	0	0	0	1.2%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
③	7	0	0	0	5	2	0	16.7%	38	0	0	0	11	2	5	25.9%	
④	2	0	0	0	0	0	0	2.4%	3	0	0	0	1	0	0	1.9%	
⑤	11	4	1	0	1	0	1	21.4%	37	3	3	0	2	1	10	25.9%	
⑥	0	0	0	0	1	0	0	1.2%	0	0	0	0	1	0	0	0.5%	
⑦	0	0	0	0	1	0	0	1.2%	1	0	0	0	0	0	0	0.5%	
⑧	5	2	0	1	4	3	0	17.9%	10	1	0	1	5	6	2	11.6%	
⑨	1	0	0	0	1	0	0	2.4%	1	0	0	0	0	0	0	0.5%	
⑩	8	0	0	0	1	2	1	14.3%	21	0	0	2	0	0	3	12.0%	
⑪	5	0	0	0	0	0	0	6.0%	7	1	0	0	2	0	0	4.6%	

(古川 1/11 : N = 45 2/8 : N = 140, 松山 1/11 : N = 7 2/8 : N = 5,

三本木 1/11 : N = 1 2/8 : N = 3, 鹿島台 1/11 : N = 2 2/8 : N = 5,

岩出山 1/11 : N = 18 2/8 : N = 32, 鳴子温泉 1/11 : N = 8 2/8 : N = 10

田尻 1/11 : N = 3 2/8 : N = 21)

## 2 (6) 利用してみての感想・意見（一部抜粋）

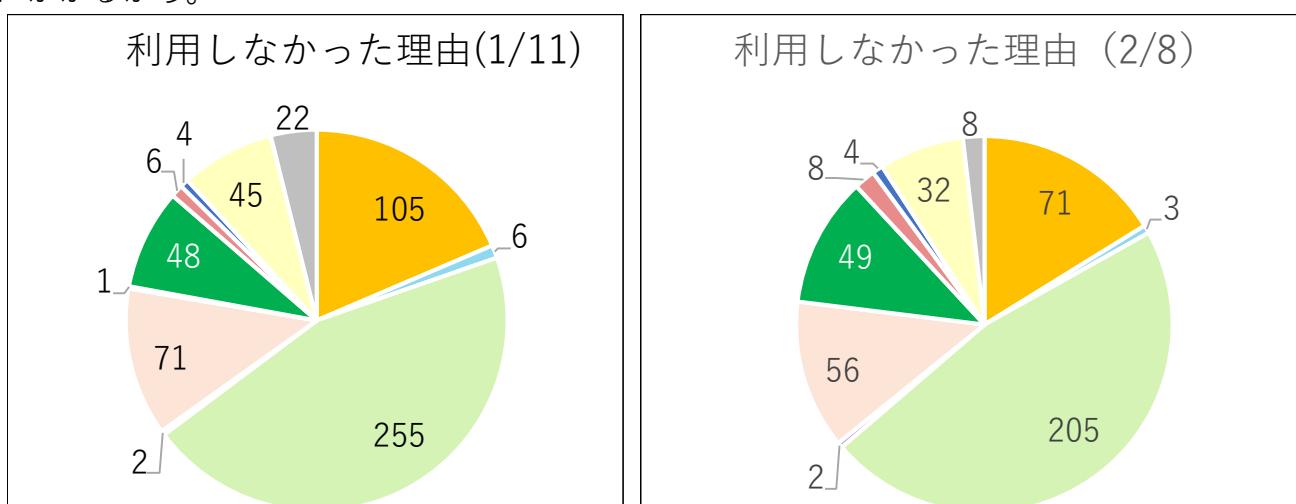
・通勤時間や通勤費用の視点から定期利用は現実的ではないが、月1回程度の取り組みであれば、通勤時の景色の再発見や同僚とのコミュニケーションにもつながり、対応可能と考えられる。

- ・できるだけ利用したい。
- ・運行間隔があきすぎている（陸羽東線を利用）。
- ・（バスを利用したが）最終の時間が早く、退勤時間が不規則な場合は使いづらいと感じた。
- ・無人駅で乗車した人は有人駅で清算が必要なため、窓口が混雑した。
- ・感染症を気にしてしまう。

### 3 利用しなかった理由 (1/11 : N=565 2/8 : N=438)

No	選択項目	1/11		2/8		
		回答数	割合	回答数	割合	
①	自宅から最寄り駅まで遠いから	105	18.6%	71	16.2%	■
②	勤務地近辺に駅・停留所が無いから	6	1.1%	3	0.7%	■
③	自家用車・徒歩・自転車による通勤よりも通勤時間が長くなるから	255	45.1%	205	46.8%	■
④	天候による遅延・運休に左右されずに通勤したいから	2	0.4%	2	0.5%	■
⑤	出勤・退勤するのにちょうどいいダイヤがないから	71	12.6%	56	12.8%	■
⑥	最寄り駅・停留所の周辺は人気がなく、防犯の観点から利用することに抵抗があるから	1	0.2%	0	0.0%	■
⑦	最寄り駅・市民バスがICカード非対応のため不便に感じるから	0	0.0%	0	0.0%	■
⑧	帰り道での買い物や家族の送迎ができず不便だから	48	8.5%	49	11.2%	■
⑨	身体上・健康上の理由により自家用車以外の手段をとることが難しいから	6	1.1%	8	1.8%	■
⑩	会議・研修等により通常の通勤経路と異なったから	4	0.7%	4	0.9%	■
⑪	その他※	45	8.0%	32	7.3%	■
⑫	未回答	22	3.9%	8	1.8%	■

※その他…駅や停留所より職場のほうが近いから（職場まで自宅から徒歩圏内だから）、感染症を気にしてしまうから、帰り道に通院するのに自家用車が必要だから、業務繁忙期で退庁時間に間に合うダイヤがないから、（公共交通機関を利用するため）駐車場代も余分にかかるから。



No	1/11 回答数							2/8 回答数									
	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子温泉	田尻	割合	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子温泉	田尻	割合	
①	105	9	2	4	17	2	11	18.6%	47	9	4	3	5	3	0	16.2%	
②	4	0	0	2	0	0	0	1.1%	3	0	0	0	0	0	0	0.7%	
③	214	3	0	11	14	1	12	45.1%	174	3	2	9	13	2	2	46.8%	
④	0	0	1	1	0	0	0	0.4%	0	1	0	1	0	0	0	0.5%	
⑤	35	2	26	5	3	3	0	12.6%	18	3	21	6	5	3	0	12.8%	
⑥	1	0	0	0	0	0	0	0.2%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
⑦	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
⑧	29	2	4	1	8	4	0	8.5%	31	1	6	2	5	3	1	11.2%	
⑨	3	1	1	0	0	1	0	1.1%	2	1	1	0	0	0	4	1.8%	
⑩	2	0	0	0	2	0	0	0.7%	0	1	0	0	1	0	2	0.9%	
⑪	29	0	2	1	6	3	4	8.0%	20	0	1	1	7	3	0	7.3%	
⑫	20	0	0	0	2	0	0	3.9%	6	1	0	0	0	1	0	1.8%	

(古川 1/11 : N=394 2/8 : N=301, 松山 1/11 : N=17 2/8 : N=20,  
 三本木 1/11 : N=36 2/8 : N=35, 鹿島台 1/11 : N=25 2/8 : N=22,  
 岩出山 1/11 : N=52 2/8 : N=36, 鳴子温泉 1/11 : N=14 2/8 : N=15,  
 田尻 1/11 : N=27 2/8 : N=9)